N-01E

取扱説明書　'13.5

docomo STYLE series

このたびは、「N-01E」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
N-01Eをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

N-01Eの操作説明について

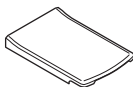
N-01Eの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

- **「取扱説明書」（本書）：画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明します。**
- **「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）：よく使われる機能の概要や操作について説明します。**
  N-01Eの待受画面でMENU ▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」
- **「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）：すべての機能の詳しい案内や操作について説明します。**
  パソコンから:ドコモのホームページでダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品について

■ **本体付属品**

N-01E
（保証書含む）

リアカバー N61

N-01E取扱説明書
（本書）

電池パック N30

卓上ホルダ N35

■ 本FOMA端末に対応したオプション品について→P.90

本書のご使用にあたって

・ 本書では「N-01E」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
・ 本書の手順や画面は、主に本体色「WHITE」のお買い上げ時の設定で記載しています。また、本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で、背景を白、文字を黒にして記載しています。
・ 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
・ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

目次

各部の名称と機能

内側カメラ

マルチファンクションボタン

（上）／（下）：上／下ボタン
- カーソルや表示内容などを上下方向へ移動します。
- 電話帳検索メニュー画面を表示します。
- ショートカットを起動します。

（左）／（右）：左／右ボタン
- カーソルを左右方向へ移動します。
- MyFACEを起動します。

（●）：決定ボタン
- ファンクション表示の内容を実行します。

MENU ボタン
メインメニューを表示します。

（メール）ボタン
メールメニューを表示します。

（開始）開始ボタン
通話を開始します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

＊／公共（ドライブモード）ボタン
公共モードに設定します。

QUICK クイックボタン
「クイックボタン設定」で設定した機能が起動します。

受話口
相手の声はここから聞こえます。

ディスプレイ

照度センサー
明るさを感知します。手で覆ったり、シールを貼らないでください。

（カメラ）ボタン
静止画撮影画面を表示します。

（i）ボタン
i Menuを表示します。

CLR 戻る（クリア）ボタン／iチャネルボタン
- 操作を1つ前の状態に戻したり、入力した文字を削除します。
- iチャネルを表示します。

（終了）電源／終了／応答保留ボタン

＃／マナーボタン

MULTI マルチボタン
TASK MENU画面を表示します。

送話口／マイク

<イヤホンのご利用について>
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

外部接続端子用 ステレオイヤホンマイク01(別売)接続例

ACアダプタ(充電)およびステレオイヤホンマイク01(イヤホンマイク端子)の差込口が共通となっております。

GPS アンテナ
アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
マーク
ICカード読み取りやｉC通信ができます。
外側カメラ
赤外線ポート
スピーカ（モノラル）
リアカバー
充電端子
ストラップ取付穴
外部接続端子
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。
ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA充電機能付USB接続ケーブル02（別売）、ステレオイヤホンマイク01（別売）などを接続します。
背面ディスプレイ
時計やFOMA端末の各種状態が表示されます。
着信イルミネーション／充電ランプ／撮影認識ランプ
FOMA アンテナ
アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
Bluetooth アンテナ
アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
microSD カードスロット（内部）
※ワンセグアンテナはFOMA端末本体に内蔵されており、FOMA端末全体がアンテナの役割をしています。
▲[マナー]音量大ボタン
受話音量を上げたり、マナーモードを設定します。
▼音量小ボタン
受話音量を下げます。
8.1M
PIXELS

FOMA端末について

- N-01Eは、W-CDMA・GSM/GPRS方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
→P.16「防水／防塵性能」

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモminiUIMカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内でFOMA端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶など内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶など内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.12「7.材質一覧」

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は15cm 以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前にFOMA端末を電波の出ない状態に切り替えてください（セルフモードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内におけるFOMA端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

7. 材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂	UVコーティング
	ボタン面および電池面		
	背面ディスプレイ面	PC樹脂	UVコーティング
	電池面ヒンジ部パネル	PC樹脂	UVコーティング
ディスプレイパネル		アクリル樹脂	ハードコート
背面ディスプレイパネル		アクリル樹脂	ハードコート
背面ディスプレイサイドパネル		ABS樹脂	すず蒸着、UVコーティング
カメラおよび赤外線ポートパネル		アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
ボタン	マルチファンクションボタン	アルミ合金	アルマイト着色
	サイドボタン	PC樹脂	アルミ蒸着、UVコーティング
	その他ボタン	PC樹脂	UVコーティング
ボタン周囲シート		PET樹脂	ハードコート
突き当てパッド		シリコーンゴム	－
リアカバー	表面	PC樹脂	UVコーティング
	裏面	PC樹脂	－
	裏面止水部	シリコーンゴム	－
外部接続端子キャップ	本体	PC/ABS樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	UVコーティング
	止水部	PC樹脂、シリコーンゴム	－
充電端子		黄銅	金メッキ
電池パック収納部	収納面	金属部：ステンレス合金 樹脂部：ナイロン樹脂	金属部：ニッケルメッキ 樹脂部：－
	内部フレーム	PC樹脂	－
	microSDカードホルダ	ステンレス合金	－
	ドコモminiUIMカードスロット	カバー：ステンレス合金 端子部：りん青銅 コネクタ本体：LCP樹脂	カバー：－ 端子部：金メッキ コネクタ本体：－
電池端子	電池端子コネクタ本体	ナイロン樹脂	－
	端子部	チタン銅	金メッキ
電池パック N30	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂	－
	端子部	ガラスエポキシ樹脂	金メッキ
卓上ホルダ N35	外装ケース	ABS樹脂	－
	充電端子レバー	POM樹脂	－
	充電端子	りん青銅	金メッキ
	背面の端子	端子部：りん青銅 樹脂部：PPS樹脂	端子部：金メッキ 樹脂部：－
	ゴムクッション	シリコーンゴム	－
	ゴム足	ポリウレタン	－
	ネジ	鉄鋼材	ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **N-01Eは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  故障、破損、誤動作の原因となります。

- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1
■■■■■■■■

2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
■■■■■■ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

N-01Eは、外部接続端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能と、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1：IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2：IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにN-01Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3：IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

N-01Eが有する防水/防塵性能でできること

・雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
・手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
・洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
※ リアカバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
※ 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
※ 送話口／マイクや受話口、スピーカに蛇口の水を直接当てないでください。
・プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。
・泥や土などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。

ご利用にあたって

・ご使用前に、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵の浸入の原因となります。
・次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

<例>

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

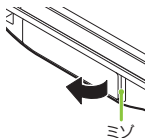
プール

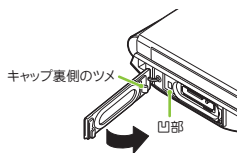
温泉

外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

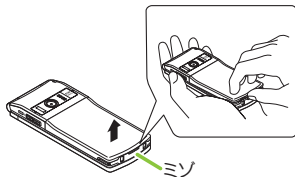
■開けかた

ミゾに指などをかけて矢印の方向に開けてください。

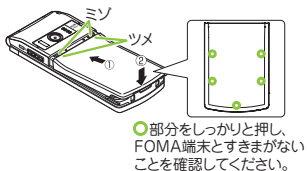
ミゾ

■閉じかた

キャップ裏面のツメを本体凹部に合わせ、矢印の方向にしっかりと押し、取り付けます。

リアカバーの取り付けかた／取り外しかた

■取り外しかた

FOMA端末を手に持ち、ミゾに指などをかけて、無理な力を加えないよう矢印の方向にリアカバーを取り外してください。

■取り付けかた

リアカバーの左右のツメをミゾに合わせ①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、取り付けます。

○部分をしっかりと押し、FOMA端末とすきまがないことを確認してください。

おしらせ

- リアカバーを取り外すときは、水抜き（P.19）を行い、FOMA端末の水分をよく拭き取ってください。
- リアカバーを取り付けるときは、リアカバー周辺（特にゴムパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- リアカバーを確実に取り付けないと水や粉塵の浸入の恐れがあります。
- リアカバーを取り付ける際は、ドコモminiUIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。ドコモminiUIMカードの挿入が不十分だと、電池パックがドコモminiUIMカードに乗り上げ、リアカバーを取り付けた際に、FOMA端末とリアカバーの間にすきまが生じて防水／防塵性能を損なう場合があります。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

重要事項

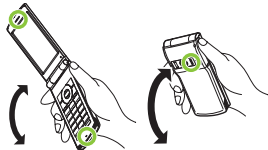
・外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
・外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形した場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
・外部接続端子キャップやリアカバーのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵の浸入の原因となることがあります。
・リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
・水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
・結露防止のため、寒い場所から暖かい場所などへはFOMA端末が常温になってから持ち込んでください。
・規定(→P.16)以上の強い水流（たとえば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。N-01EはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
・洗濯機などで洗わないでください。
・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
・送話口／マイク、受話口、スピーカなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
・濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートする恐れがあります。
・FOMA端末は水に浮きません。
・落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
・送話口／マイク、受話口、スピーカに水滴を残さないでください。水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなったり、カメラ利用時に駆動音が鳴る場合があります。このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
・実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

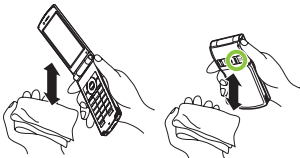
FOMA端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

・送話口／マイクや受話口、スピーカに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

❶ FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

❷ FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

<送話口／マイク、受話口の水抜き>　<スピーカの水抜き>

❸ 送話口／マイク、受話口、スピーカ、ボタン、ヒンジ部などのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る

※ すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

❹ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

・FOMA端末が濡れていないか確認してください。水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。

・外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の浸入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

※ FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。

※ 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

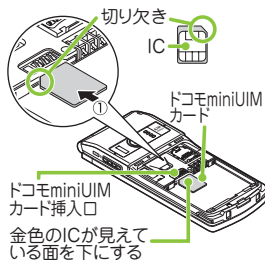
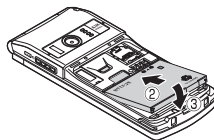
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ドコモminiUIMカード・電池パックの取り付けかた

ドコモminiUIMカードや電池パックの取り付け、取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

- ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
- 本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

❶ **リアカバーを取り外す（→P.17）**

❷ **ドコモminiUIMカードを取り付ける**
ドコモminiUIMカードの金色のIC面を下にして、ドコモminiUIMカード挿入口に固定されるまで①の方向へ奥まで差し込みます。

❸ **電池パックを取り付ける**
Ⓐと書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように②の方向に取り付けて、③の方向へはめ込みます。

❹ **リアカバーを取り付ける（→P.17）**

充電のしかた

充電にかかる時間や連続して通話できる時間は、「主な仕様」（→P.95）をご覧ください。

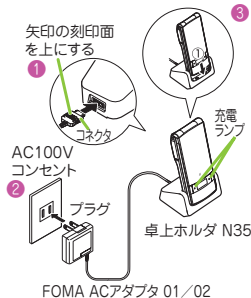
・ 電池パック、ACアダプタ、付属の卓上ホルダは防水／防塵性能を有していません。FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
・ 外部接続端子からの水や粉塵の浸入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
・ 充電を開始すると、充電ランプが点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です。（フル充電）

卓上ホルダを使って充電する

❶ ACアダプタ（別売）のコネクタの刻印面を上にして、付属の卓上ホルダ背面のコネクタ端子へ水平に差し込む

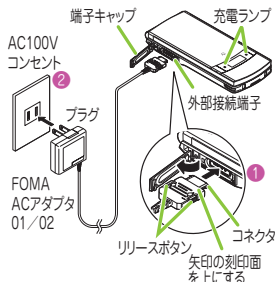
❷ ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

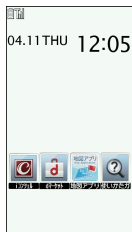
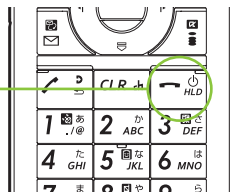
❸ 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を①の方向に差し込み、しっかりと取り付ける
　・ 取り付ける際は、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

❹ 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げて取り外す

ACアダプタを使って充電する

❶ 外部接続端子の端子キャップを開け（→P.17）、ACアダプタのコネクタの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む

❷ ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

❸ 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタのコネクタをFOMA端末から水平に引き抜き、ACアダプタのプラグはコンセントから抜く

電源を入れる

❶ [━] を1秒以上押す

待受画面

■ 初期設定画面が表示された場合

お買い上げ後はじめて電源を入れた後は、初期設定画面が表示されます。

■ 電源を切る場合

[━] を2秒以上押します。

初期設定を行う

お買い上げ後はじめて電源を入れたときは、初期設定として「時刻補正」「端末暗証番号の変更」「ボタン確認音」などの設定画面が表示されます。

- 初期設定ではこのほかに、時差補正、文字サイズ、位置提供を設定できます。
- すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させるかどうかを設定します。

1 MENU ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「発信者番号通知」▶「設定」▶「通知する」または「通知しない」

・発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。

自分の電話番号を確認する

プロフィール画面でお客様のドコモminiUIMカードに登録されている電話番号（自局番号）と機種名を確認できます。

1 MENU ▶「プロフィール」

MENU ▶ 0 でも確認できます。

•プロフィール画面には、お買い上げ時は電話番号のみ表示されます。
メールアドレスは直接入力するか、ｉモードから次の手順で自動的に取得できます。
プロフィール画面で［編集］▶ 端末暗証番号を入力 ▶ <メールアドレス> ▶「自動取得」▶ ｉモードに接続され、メールアドレスが <メールアドレス> 欄に自動的に入力される ▶ ［完了］ の順に操作します。
•メールアドレスの変更方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

画面の説明

ディスプレイ・アイコンの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（、、など）をアイコンといいます。アイコンは、FOMA端末の状態や受信状況などを示しています。

■ FOMA端末の状態を示すアイコン

画面上部にはFOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます。

電池残量（目安）

- ：十分残っています。
- ：充電してください。

電波受信レベル

強 ⟷ 弱

- 圏外：FOMAの電波が届かないところ
- ：iモード中
- ：未読メールあり
- ：音声通話中
- ：ダイヤルロック中
- ：iコンシェルの新着インフォメーションあり
- ：マルチタスク起動中
- ：Bluetooth電源オン（点灯）
- ：microSDカード取り付け時

- ：バイブレータ設定中
- ：着信音消去
- ：マナーモード設定中
- ：公共モード（ドライブモード）設定中
- ：アラーム設定中
- ：音声電話／テレビ電話の留守番メッセージ件数
- ：テレビ電話伝言メモの件数
- ：ecoモード設定中
- ：自動キーロック中
- ：USBケーブル接続時で、通信モード中

- ここでは主なアイコンを説明しています。アイコンの名称は、MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」で確認できます。

■ デスクトップアイコンとショートカットアイコン

画面中央には受信状況を知らせるデスクトップアイコンが表示されます。ショートカットアイコンを貼り付けて、アイコンから機能を呼び出したりすることもできます。

デスクトップアイコン（例）

- 01 ：不在着信あり
- 伝言 ：伝言メモあり
- 伝言 ：テレビ電話伝言メモあり
- 留守 ：留守番電話あり
- 01 ：新着メールあり

ショートカットアイコン（例）

- ：ｉコンシェル
- ：使いかたガイド
- ：音声クイック起動
- ：メディアスピューア

04.11THU 12:05

01 01 伝言

iｺﾝｼｪﾙ dﾏｰｹｯﾄ 地図アプリ 使いかたガ

ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ 選択 削除 ▼ページ

ファンクションの表示
→P.27

おしらせ

・デスクトップアイコンやショートカットアイコンは、待受画面 ▶ ◉ でアイコンを選択してそれぞれの機能を呼び出すことができます。

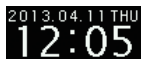
背面ディスプレイの見かた

背面ディスプレイには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されます。

■ 表示例

2013.04.11 THU 12:05

時計表示（時計1）

現在時刻 12:05

アラーム通知中

感情お知らせメール

着信表示

不在着信／新着メール表示

不在着信／新着メールを確認する

■ 不在着信の確認

▲[マナー]を押すと、「着信日／着信時間／名前（電話番号）」などが表示されます。

不在着信履歴
4/11(木) 12:05

■ 新着メールの確認

▲[マナー]を押すと、「送信元／受信日時／題名」などが表示されます。
「背面ディスプレイ設定」のメール表示を「ON」に設定する必要があります。

ドコモ太郎
4/11 12:05 新着

MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「背面ディスプレイ設定」▶「ON」▶「メール表示」▶「ON」▶ [完了]の順に操作します。

メインメニューの見かた

FOMA端末の各種機能はメインメニューから選択できます。

・メインメニューは「スタンダード」の表示で記載しています。

メール　：メール機能を表示します。
iモード/web：iモード、フルブラウザのメニューを表示します。
iアプリ　：iアプリメニューを表示します。
カメラ/TV/MUSIC：カメラ、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネル、ワンセグのメニューを表示します。
データBOX　：データBOXのフォルダを表示します。
便利ツール　：便利な機能を表示します。
電話機能　：電話帳や発着信履歴などの電話機能を表示します。
本体設定　：FOMA端末の設定メニューを表示します。
地図/海外　：GPSや海外設定メニューを表示します。
iコンシェル　：iコンシェル画面を表示します。
プロフィール　：ドコモminiUIMカードの自局番号などを表示します。
おサイフケータイ：ICカードやトルカなどの設定メニューを表示します。

[オリジナル]：オリジナルメニューを表示します。

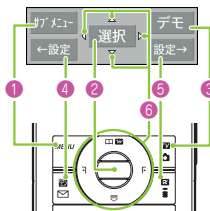
■ メインメニューのデザインを変更する

メインメニューのデザイン（背景やアイコンなどの表示スタイル）を変更できます。「スタンダード」、「カラフル」、「neco」、「シンプル」、「オリジナルテーマ」、「きせかえツール」から選択します。

❶ MENU ▶ 📷［きせかえ］▶ デザインを選択

ボタン操作

画面にはMENU、◉、📷、✉、📶に対応するソフトキー（ファンクション表示）と✥に対応する方向アイコンが表示されます。これらのアイコンは、対応するボタンが使用できるときのみ表示されます。

ファンクションボタンに割り当てられている機能を実行する

■ 主な表示例とボタンの割り当て

❶ には［サブメニュー］［閉］［MENU］などが表示されます。
❷ には［選択］［確定］［再生］［発信］などが表示されます。
❸ には［設定］［編集］［完了］［デモ］［送信］［新規］などが表示されます。
❹ には［戻る］［microSD］［←設定］などが表示されます。
❺ には［切替］［削除］［設定→］などが表示されます。
❻ には上下左右に移動またはスクロールできる方向のアイコン（◁⇕▷）が表示されます。✥を押すと、その方向に移動またはスクロールします。

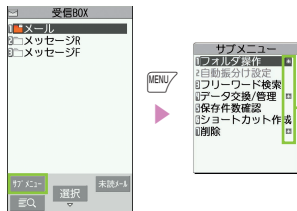
メニュー操作

FOMA端末の各種機能は、待受画面で MENU を押して表示されるメインメニューから選択できます。

1 ▶ で反転表示を移動して ◉［選択］ ▶ 表示されるメニューを 順次選択

・メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

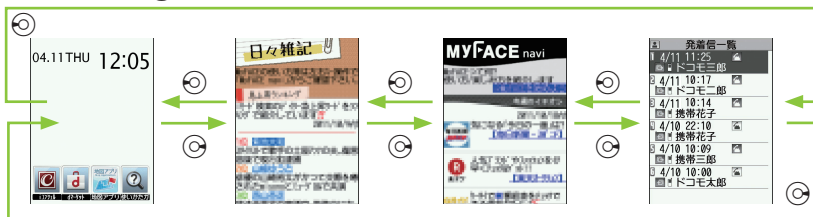
サブメニュー が表示されているときは

MENU ボタンを押すと登録や編集、削除など、その画面で操作できる機能が表示されます。

docomo Palette UI

待受画面からMyFACEおよびショートカット一覧に切り替えることができ、様々な機能やサービスに簡単にアクセスできます。また、お客様が自由にカスタマイズできます。

MyFACEの利用

■ MyFACEを起動する

❶ 待受画面で ⊙

■ MyFACEを切り替える場合

▶ ⊙ を押すたびに次のコンテンツやサービスに切り替わります。MyFACEは ⊙ で待受画面に戻ったとき終了します。

■ サイトからMyFACEをダウンロード

iモードのサイトから最大約600KバイトのMyFACEをダウンロードできます。

❶ MyFACEがダウンロード可能なサイトでMyFACEを選択 ▶ 登録する位置を ⊙ で選択 ▶ コンテンツまたはサービスを自動的に更新するか「YES」または「NO」を選択

- MyFACEは12件まで登録できます。
- ダウンロードしたMyFACEの更新にはパケット通信料がかかります。

ショートカットの利用

■ ショートカットを起動する

❶ 待受画面で

■ ショートカットアイコンが5件以上登録されている場合

▶

お買い上げ時には、すでに5件以上のショートカットアイコンが登録されています。

❷ でショートカットアイコンを選んで、 ［選択］

■ ショートカットを作成する

ショートカットを作成したい機能の画面、データの一覧画面などでサブメニューから「ショートカット作成」を選択します。

＜例：電話帳の電話番号のショートカットを作成する場合＞

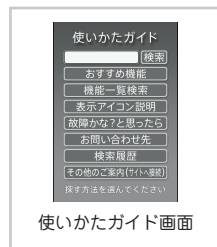
❶ 作成したい電話帳の電話番号を表示して MENU ［サブメニュー］ ▶ 「設定」 ▶ 「ショートカット作成」

基本の操作

使いかたガイドを利用する

知りたい機能があるときは、「使いかたガイド」で操作方法を確認できます。
お手元に取扱説明書がないときにすぐに調べられます。

❶ MENU ▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」

❷ キーワードを入力または探す方法を選択

使いかたガイド画面

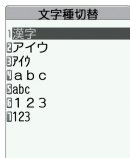
基本の操作

文字入力

文字入力のしかた

電話帳登録やメール、スケジュールの作成時などに文字を入力します。

① 入力モードの切り替え

文字を入力する画面で［文字切替］を押すと、文字種切替画面が表示されます。

文字種切替画面

② 文字の入力

各ダイヤルボタンを繰り返し押して、割り当てられている文字を入力します。

〈例〉 2 を押すと･･･

漢字ひらがな入力の場合
「か→き→く→け→こ」

カナ入力の場合
「カ→キ→ク→ケ→コ→2」

英字入力の場合
「a→b→c→A→B→C→2」

数字入力の場合
「2」

③ 文字の変換

文字を入力したら、漢字やカナに変更します。

：予測候補の表示

：候補から選択

：漢字などに変換

で変換範囲を変更

：英数カナへ変換

：確定

■ そのほかのボタン操作

CLR：文字の削除

＊：改行の入力や小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点の入力をします。

：同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

（1秒以上）：文字の貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。

：絵文字や記号を連続して入力したり、顔文字やURLを入力します。
一覧表示中は、MENU または を押してタブ表示を切り替えることができます。

文字を入力してみましょう

＜例：「秋のキャンプ」と入力する＞

▶ で予測候補にカーソルを移動し、 で予測候補を選択

▶ ［選択］

デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャを入力する

デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャとは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことです。

メール本文入力画面で ［絵記］を押し、 MENU または で「デコメ」または「デコメピクチャ」タブを表示します。次に で囲み枠を移動し ［選択］を押すとデコメ絵文字®、デコメ®ピクチャが入力されます。

「デコメ」タブでは ＃ を押すと、カテゴリ別のデコメ絵文字®入力画面が表示されます。

［カテゴリ分類］
顔文字・絵文字
表情・気持ち
装飾
ハート・キラキラ
天気・季節
移動・生活
食べ物
キャラクター
文字

［その他のボタン操作］

- MENU ［←切替］：前のカテゴリを表示
- ［切替→］：次のカテゴリを表示
- ［ページ▲］：前のページに移動
- ［ページ▼］：次のページに移動
- ＊：microSDカードのデコメ絵文字®と本体のデコメ絵文字®を切り替え
- ＃：カテゴリ別のデコメ絵文字®を表示／カテゴリ一覧を表示
- CLR：デコメ絵文字®、デコメ®ピクチャ入力の終了

音／画面設定

着信音を変える

電話の着信音を変更する

1 MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音選択」▶「電話」▶「着信音」▶「メロディ」▶ 着信音を選択

・メロディやｉモーション、着うた®、着うたフル®など着信音に設定できるものもあります。ｉモーションを設定すると、映像も再生されます。
※「着うた」「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

着信音の音量を調節する

電話の着信音量を調節する

1 MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音量」▶「電話」▶ で音量を調節して、［確定］

バイブレータを設定する

電話がかかってきたときにバイブレータを振動させる

1 MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「バイブレータ設定」▶「電話」▶ 振動パターンを選択

マナーモードを利用する

ボタン操作1つで、着信音やボタン確認音などの音がスピーカから流れないように設定できます。マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音／オートフォーカスロック完了音、動画撮影やボイスレコーダーの開始音／終了音／一時停止音は鳴ります。

1 待受画面で［#］（1秒以上）

待受画面に が表示されます。

■ 解除する場合

待受画面で［#］（1秒以上）

ボタンを押したときの音を消す

1 MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「その他音設定」▶「ボタン確認音」▶「OFF」

画面の設定を変える

待受画面の表示を変える

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」▶「待受画面」▶ 画像を選択

ディスプレイの明るさを変える

画面やボタンの照明動作を設定したり、明るさの調節をしたりします。

1 MENU ▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「照明設定」▶ 項目を選択

周りの人からディスプレイを見えにくくする

プライバシーアングルを設定すると、周囲から画面が見えにくくなります。
設定中は、待受画面に▣が表示されます。

❶ [8]（1秒以上）

■ 解除する場合

[8]（1秒以上）

・文字編集中などの機能を利用中にプライバシーアングルの設定や解除ができない場合があります。

メニューの表示を変える

❶ MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」▶ 項目を選択

文字の設定を変える

❶ 待受画面で [7]（1秒以上）▶「フォント選択」▶ フォルダを選択 ▶ 項目（フォント）を選んで 📷［設定］▶「太さ」で文字の太さを選択 ▶「文字サイズ」で文字のサイズを選択

マチキャラの設定を変える

マチキャラを設定すると待受画面にキャラクタが表示され、iコンシェルのインフォメーション、不在着信／新着メール／未読メールなどのお知らせをします。

❶ MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「マチキャラ設定」▶「表示設定」▶「ON」

❷ フォルダを選択 ▶ マチキャラを選択 ▶ 📷［設定］

おしらせ

・待受画面にiアプリを設定している場合は、マチキャラを同時設定できません。

きせかえツールを設定する

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインを一括設定します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「きせかえツール設定」▶ フォルダを選択

2 項目を選択 ▶ 📷［一括設定］▶「YES」

・きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。

着信時の着信イルミネーションを変える

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メール、メッセージR／F、iコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信イルミネーションの点滅色や点滅パターンを設定します。

電話の着信イルミネーションを変更する

1 MENU ▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「イルミネーション設定」▶「着信イルミネーション」▶「着信イルミネーション選択」▶「電話」

2 色を選択 ▶ CLR ▶「パターン設定」▶ パターンを選択

・指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。

■ 電話帳に点滅色を設定する場合

電話帳詳細画面で MENU［サブメニュー］▶「設定」▶「個別着信音／画像」▶ 設定したい項目のタブを選択 ▶「イルミネーション設定」の順に操作します。

不在着信や新着メールを着信イルミネーションで確認する

着信イルミネーションを点滅させ続けるか点滅させないかを設定します。

着信イルミネーションを設定する

1 MENU ▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「イルミネーション設定」▶「着信イルミネーション」▶「不在お知らせ」▶「ON」または「OFF」

着信イルミネーションで確認する

不在着信や新着メール（ｉモードメール、メッセージR／F、エリアメール、SMS）があると、着信イルミネーションが点滅し続けてお知らせします。

eco モードを設定する

eco モードに設定すると、電池の消費を抑えるような設定に一括で変更されます。電池の残量を節約したいときに有効です。

1 5（1 秒以上）

■ 解除する場合

5（1 秒以上）

ecoモード自動起動設定

電池残量が一定の量より多いか少ないかによって、自動で eco モードを起動／解除します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「電池」▶「eco モード自動起動設定」

2「ON」▶「電池残量」▶ 残量を選択 ▶ 📷［完了］

各種暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に暗証番号の必要なものがあります。

端末暗証番号

■ お買い上げ時：0000

データの全削除や設定変更などに必要な暗証番号です。

お客様ご自身で番号を変更できます。
MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶ 現在の端末暗証番号を入力 ▶ 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶「YES」の順に操作します。

ネットワーク暗証番号

■ ご契約時に任意の番号を設定

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。

お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから、
ｉ ▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」で変更できます。

ｉモードパスワード

■ ご契約時：0000

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際に必要です。

お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから、
ｉ ▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」で変更できます。

PIN1コード・PIN2コード

■ ご契約時：0000

ドコモminiUIMカードに設定する暗証番号です。PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに入力する4～8桁の番号です。PIN2コードは、積算料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の番号です。3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1 コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

お客様ご自身で番号を変更できます。

MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「UIM（FOMA）カード設定」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「PIN1コード変更」または「PIN2コード変更」▶ 現在のPINコードを入力 ▶ 新しいPINコードを入力 ▶ 確認のため、もう一度新しいPINコードを入力の順に操作します。

・PIN1コードを変更する場合、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定してご使用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

・PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

各種ロック機能

本FOMA端末では、以下のようなロックをかけてお客様の大切な情報を守ります。

ロックの種類	機能	設定方法
ダイヤルロック	ほかの人が使用できないように端末をロックします。電源を切っても解除されません。	設定する：MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「ダイヤルロック」 解除する：ダイヤルロック設定中画面で端末暗証番号を入力 ▶ ⦿ ・ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。	おまかせロックの設定／解除 0120-524-360 受付時間24時間(年中無休) ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 ※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。
オリジナルロック	メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。	設定する：MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ オリジナルロックの項目を選択 解除する：MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「OFF」
ICカードロック	ほかの人にICカード機能（おサイフケータイやトルカ取得など）を無断で使われることを防ぐために、ICカード機能をロックします。	設定する：待受画面で 3（1秒以上） 解除する：待受画面で 3（1秒以上）▶ 端末暗証番号を入力
自動キーロック	FOMA端末を閉じたときや、電源を切ったとき、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。	設定する：MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「自動キーロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 設定する項目を選択 ▶ 📷［完了］ 一時解除する：自動キーロック設定中画面で端末暗証番号を入力 ▶ ⦿

電話の着信制限をする

発信者番号のわからない電話を受けない

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信を許可するか、拒否するかを非通知理由ごとに設定します。

1. MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「着信拒否設定」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「非通知設定」～「通知不可能」から選択 ▶「許可」または「拒否」

「許可」を選択した場合は、「着信音」と「着信画面」を設定できます。

- 設定には非通知理由ごとに以下の種類があります。
  - 非通知設定　：発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合。
  - 公衆電話　：公衆電話などから発信してきた場合。
  - 通知不可能　：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可するか、拒否するかを設定します。

1. MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「着信拒否設定」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「登録外着信拒否」▶「許可」または「拒否」

- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
  「番号通知お願いサービス」および本機能の「非通知設定」などもあわせて設定することをおすすめします。

お買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をリセットする

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー一覧」（→P.91）をご覧ください。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。

1. MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「設定リセット」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、ｉアプリ、ウィジェットアプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画、各種履歴や情報など、お客様の大切なデータ、履歴、情報がすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

1. MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「端末初期化」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」▶「YES」

おしらせ

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、削除可能なおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されることがあります。また、お買い上げ時に登録されているｉアプリやウィジェットアプリをバージョンアップした場合や一度削除して再度ダウンロードした場合、そのデータは削除されます。
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

❶ 市外局番から電話番号を入力して［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

❷ 通話が終了したら［終話］

電話帳から電話をかける

あらかじめ電話帳に相手の電話番号を登録しておきます。（→P.55）

❶ ［電話帳］（電話帳検索）で検索条件を選択して電話帳を検索 ▶ ［決定］で電話帳を選択して［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

リダイヤルを利用して電話をかける

❶ MENU ▶ 「電話機能」▶「発着信履歴」▶「リダイヤル」で相手を選択して［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

■着信履歴を利用する場合

MENU ▶「電話機能」▶「発着信履歴」▶「着信履歴」▶「全着信」または「不在着信」で相手を選択して［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

声の宅配便を利用する

声でメッセージを録音し、相手へお届けするサービスです。

❶ 相手の電話番号を入力して［メール］［声宅配］

❷ ガイダンスに従い、メッセージを録音

相手に声の宅配便のお知らせ通知が届きます。

■ 声の宅配便を再生する場合

録音通知SMS詳細画面で「再生」▶「YES」

MENU ▶「電話機能」▶「声の宅配便」▶「メッセージ確認（音声）」▶「YES」でも再生できます。

国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときはWORLD CALLを利用します。
・WORLD CALLについてのご不明な点は、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

❶ 010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番） ▶ 相手の電話番号 ▶ [発信]（音声電話）／[カメラ]（テレビ電話）

❷ 通話が終了したら [終話]

おしらせ

・地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
・海外から電話をかけることもできます。（→P.48）

電話／テレビ電話を受ける

電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信イルミネーションが点滅します。

❶ 電話がかかってきたら [発信]

■ テレビ電話でカメラ映像で出る場合

▶ [発信]または[カメラ]［テレビ電話］

■ テレビ電話で代替画像で出る場合

▶ ◉［代替画像］

❷ 通話が終了したら [終話]

相手の声の大きさを変える

❶ [MENU] ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「受話音量」▶ [上下]で調節 ▶ ◉［確定］

おしらせ

・通話中の場合は、[▲][マナー]／[▼]で調節できます。

つながる

電話に出られないとき

伝言メモを設定する

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。

1 MENU ▶「電話機能」▶「伝言メモ／音声メモ」▶「伝言メモ設定」▶「ON」▶「電話」または「テレビ電話」▶ 項目を選択
2 呼出時間（000～120秒の3桁）を入力

■ 伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。録音中に音声電話に出る場合は、[通話]を押します。録画中にテレビ電話に出る場合は、[通話]／[カメラ]（カメラ映像で出る）または◉［代替画像］（代替画像で出る）を押します。

■ 伝言メモを再生する場合

待受画面で◉ ▶「[伝言]」（伝言メモあり）／「[伝言]」（テレビ電話伝言メモあり）▶ 項目を選択

公共モード（ドライブモード）を設定する

公共モード（ドライブモード）を設定すると、運転中もしくは通話を控える必要のある場所（電車、バス、映画館など）にいて電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、自動的に電話を終了します。

1 待受画面で[＊]（1秒以上）

待受画面に[車]が表示されます。

■ 解除する場合

待受画面で[＊]（1秒以上）

公共モード（電源OFF）を設定する

FOMA端末の電源を切らなければならない場合は、公共モード（電源OFF）を設定すると、相手には電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 [＊][2][5][2][5][1] ▶ [通話]

■ 解除する場合

[＊][2][5][2][5][0] ▶ [発信]

各種ネットワークサービスを利用する

■ 利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
着信通知サービス	不要	無料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	要	有料
2in1	要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
メロディコール	要	有料
声の宅配便	不要	無料

留守番電話サービスを設定する

1 [MENU] ▶ 「電話機能」 ▶ 「留守番電話サービス」 ▶ 項目を選択

キャッチホンを設定する

1 [MENU] ▶ 「電話機能」 ▶ 「その他ネットワークサービス」 ▶ 「キャッチホン」 ▶ 項目を選択

転送でんわサービスを設定する

1 [MENU] ▶ 「電話機能」 ▶ 「その他ネットワークサービス」 ▶ 「転送でんわ」 ▶ 項目を選択

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

海外で利用する

海外で電話をかけるには国際ローミング（WORLD WING）を利用します。

■ 国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応エリアについて

本FOMA端末は、クラス4になります。3Gネットワークおよび GSM ／ GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』
- データBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

■ おしらせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
MyFACE※1	○	○	×
音声電話※2	○	○	○
テレビ電話※2	○	×	×
SMS※3	○	○	○
ｉモード※4	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
ｉチャネル※4※5	○	○	×
ｉコンシェル※6	○	○	×
ｉウィジェット※7	○	○	×
パソコンと接続して行うパケット通信	○	○	×
GPSの現在地確認※8	○	○	×

※1：ローミング時自動更新設定が必要となります。
お買い上げ時に登録されているMyFACEの自動更新もパケット通信料がかかります。
日本から海外へ渡航したときにはMyFACE自動更新設定が「自動更新しない」に設定され、初回に海外でご利用するかどうかを選択します。
※2：2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※3：宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※4：ｉモード海外利用設定が必要となります。
※5：ｉチャネル海外利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります。(日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます)。
※6：ｉコンシェルの海外利用設定が必要となります。インフォメーションを受信するごとにパケット通信料がかかります。
※7：ｉウィジェット海外利用設定が必要となります。ｉウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。
※8：GPS測位（現在地確認）は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

•接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

滞在国外に電話をかける

1 待受画面で［0］（1秒以上）で＋を入力 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番） ▶ 相手の電話番号 ▶ ［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

2 通話が終了したら［終話］

おしらせ

- 日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

つながる

滞在国内に電話をかける

1 地域番号（市外局番） ▶ 相手の電話番号 ▶ ［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

2 通話が終了したら［終話］

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外で「WORLD WING」利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として（国番号に「81」（日本）をダイヤル）電話をかけます。

1 待受画面で［0］（1秒以上）で＋を入力 ▶ ［8］［1］ ▶ 先頭の「0」を除いた携帯電話番号 ▶ ［発信］（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

2 通話が終了したら［終話］

ｉモードを契約するだけで、ｉモード対応端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます（ファイルサイズによって、最大ファイル数は変動します）。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

・ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

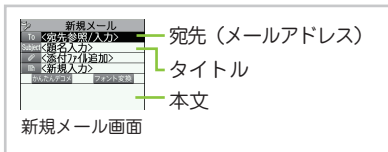
ｉモードメールを送信する

1 ［メールボタン］ ▶ ［メールボタン］［新規メール］ ▶ 各項目を入力

2 ［カメラボタン］［送信］

新規メール画面

■ ファイルを添付する場合

新規メール画面で「＜添付ファイル追加＞」 ▶ ファイルを選択

- ｉモードメール添付できるファイルの種類は、次のようになります。
  - 静止画、画像
  - 動画、ｉモーション
  - PDFデータ
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - プロフィールの登録データ
  - Bookmark
  - ムービー※
  - SWF形式のFlash画像
  - メロディ
  - microSDカード内のドキュメント
  - 電話帳のデータ
  - スケジュールまたはメモの登録データ
  - microSDカード内のSDその他ファイル

※：ムービーが添付された受信メールを転送するときにのみ、添付して送信することができます。

デコメール® ／デコメアニメ®を送信する

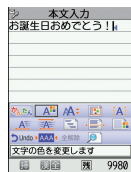
■ デコメール®

ｉモードメール本文の文字色やサイズを変える、動きをつけるなど各種の装飾（デコレーション）をつけることで表現力豊かなメールにしたものです。

■ デコメアニメ®

デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。

デコメール®を送信する

1. メール本文入力画面で［✎］
2. ◎でデコレーションメニューを選択してメールを作成 ▶ ［📷］［送信］

A：文字色の変更
AA：文字サイズの変更
画像：挿入する画像の選択
A：文字を点滅
Undo：入力した文字や装飾を1つ前の状態に戻す

など

デコメアニメ®を送信する

1. ［✉］ ▶「新規デコメアニメ作成」 ▶ 宛先、題名を入力 ▶「［▤］<新規入力>」 ▶ デコメアニメ®テンプレートを選択 ▶ ［📷］［確定］
2. 文字入力欄を選択して本文を編集 ▶ ［📷］［完了］ ▶ ［📷］［送信］

おしらせ

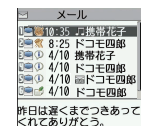
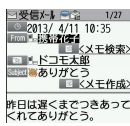
- あらかじめレイアウトや装飾が決まっているテンプレートを利用すると、簡単にデコメール®／デコメアニメ®が作成できます。
  ［✉］ ▶「デコメテンプレート」 ▶「デコメール」または「デコメアニメ」の順に操作します。

受信したｉモードメールを見る

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

・ｉモードメールを受信すると待受画面に未読アイコン「✉」が表示されます。

つながる

1 [メールキー] ▶「受信BOX」▶ フォルダを選択 ▶ iモードメールを選択

受信メール一覧画面

受信メール詳細画面

iモードメールに返信する

1 受信メール一覧画面または受信メール詳細画面で [カメラキー][返信/引用] ▶ メールを作成 ▶ [カメラキー][送信]

・元の文章を引用して返信するには、[カメラキー] [返信/引用] を1秒以上押します。

iモードメールが届いているか問い合わせる

iモードセンターに問い合わせると、保管されているiモードメールやメッセージを受信することができます。

1 待受画面で [メールキー] （1秒以上）

iモードメールを振り分ける

メールアドレスや題名など、あらかじめ条件を設定し、自動的に指定したフォルダにメールを振り分けることができます。

1 送信BOX／受信BOXフォルダ一覧画面で振り分け先のフォルダを反転 ▶ [MENU]［サブメニュー］▶「自動振分け設定」▶ 自動振分けを設定

緊急速報「エリアメール」

■ エリアメールとは

気象庁から配信される緊急情報などを受信することができるサービスです。
FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。

- iモードを契約しなくても、エリアメールは受信できます。
- 下記のような場合は、受信設定にかかわらずエリアメールの受信はできません。
  - 電源OFF時
  - 音声電話中
  - 国際ローミング中
  - セルフモード設定中
  - メモリリフレッシュの実行中
  - 「圏外」時
  - テレビ電話中
  - おまかせロック中
  - 赤外線／iC／Bluetooth通信中

エリアメールを受信する

エリアメールを受信すると専用のブザー音または着信音が鳴り、画面の上部に「」が表示されます。

エリアメールを設定する

1 ▶「メール設定」▶「緊急速報「エリアメール」設定」▶ 項目を選択

SMSを利用する

携帯電話どうし、または海外通信事業者のお客様との間で、携帯電話番号を宛先としたSMSのやりとりができます。

・ご利用可能な国および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

SMSを送信する

1 ▶「新規SMS作成」▶ 各項目を入力 ▶ ［送信］

新規SMS画面

・SMSでは画像などのファイル添付はできません。

受信したSMSを見る

SMS受信時の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じです。

1 ▶「受信BOX」▶ フォルダを選択 ▶ SMSを選択

SMSが届いているか問い合わせる

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信できます。

1 ▶「SMS問合せ」

電話帳に登録する

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるドコモminiUIMカードの電話帳の2種類の電話帳があります。

電話番号／メールアドレスなどを登録する

「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

1. MENU ▶「電話機能」▶「電話帳」▶「電話帳登録」▶「本体」または「UIM（FOMA）カード」▶ 名前、フリガナを入力 ▶ 各項目を入力して 📷［完了］

リダイヤル／着信履歴から電話帳に登録する

1. 電話のリダイヤル／着信履歴画面で MENU［サブメニュー］▶「電話帳登録」▶「本体」または「UIM（FOMA）カード」▶「新規登録」▶ 各項目を入力して 📷［完了］

電話帳を修正する

登録済みの電話帳に、電話番号やメールアドレス、登録内容の追加や修正ができます。

FOMA端末に登録済みの電話帳を修正する

1. 電話帳詳細画面で MENU［サブメニュー］▶「編集」▶ 追加や変更したい項目を修正 ▶ 📷［完了］▶「YES」

電話帳を削除する

1. 電話帳詳細画面で MENU［サブメニュー］▶「削除」▶ 項目を選択 ▶「YES」

■ｉモード
ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。
- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイトやインターネットホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のドコモminiUIMカードに差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源を入れた場合、サイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- ドコモminiUIMカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のドコモminiUIMカードに差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

■フルブラウザ
パソコン向けに作成されたサイトやインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧します。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
- パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
- 1ページあたりフルブラウザは最大1.5Mバイト表示できます。

■「みんなNらんど」
ｉMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるｉアプリ、辞書、デコメール®テンプレートなどのデータファイルをダウンロードできます。
- ショートカットアイコンの「N」（みんなNらんど）を選択→ P.30
- ▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなNらんど」

サイト接続用QRコード

しらべる

ｉモードサイトを表示する

❶ （ｉモードキー）

通信中は「（通信中アイコン）」が点滅し、ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）は「（ｉモードアイコン）」が点滅します。

通信中画面　接続画面

パソコン向けのホームページを表示する

❶ MENU ▶「ｉモード／web」▶「フルブラウザホーム」

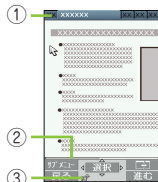
ブラウザを切り替える

ｉモードブラウザとフルブラウザは料金体系が異なります。切り替えの際にはご注意ください。

❶ **ｉモードで表示したサイトやインターネットホームページ画面 ▶ MENU［サブメニュー］▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ切替」▶「YES」または「YES（以後確認しない）」**

■ フルブラウザからｉモードブラウザに切り替える場合

フルブラウザで表示したページ ▶ MENU［サブメニュー］▶「ｉモードブラウザ」▶「ｉモードブラウザ切替」

サイトの見かたと操作

① タブ
- 表示しているページのタイトルを表示（タイトルがない場合は、URLを表示）
- 同時に開いているページの数に合わせ、タブも表示

② スクロールバー：表示しているフルブラウザページの現在位置

③ フルブラウザでインターネット接続中に表示

押した方向にリンクを移動しながらスクロールします。

前のページに戻ります。

次のページに進みます。

※（キー）を押すと、（メールキー）［ページ▲］／（ｉモードキー）［ページ▼］で、画面単位で上方向または下方向にスクロールします。

しらべる

よく見るサイトを登録する

❶ ｉモードやフルブラウザで表示したインターネットホームページ画面 ▶ MENU［サブメニュー］▶「Bookmark」▶「Bookmark登録」▶「OK」▶ フォルダを選択 ▶「OK」

■ Bookmarkを表示する場合

MENU ▶「ｉモード／web」▶「Bookmark」▶ フォルダを選択 ▶ Bookmarkを選択

ページの内容を保存する

❶ ｉモードやフルブラウザで表示したインターネットホームページ画面 ▶ MENU［サブメニュー］▶「画面メモ」▶「画面メモ保存」▶ 保存先を選択 ▶ 保存方法を選択 ▶「OK」

保存方法の「YES＋ショートカット」と「表示＋ショートカット」は、保存先が「本体」のときのみ選択できます。

■ 画面メモを表示する場合

MENU ▶「ｉモード／web」▶「画面メモ」▶ 保存先を選択 ▶ 画面メモを選択

・Bookmarkはｉモードとフルブラウザ合わせて最大200件登録できます。
・画面メモはｉモードとフルブラウザ合わせて最大250件保存できます。
・サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合など、画面メモに保存できない場合があります。

iチャネル

ニュースや天気などの情報がiチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。
「ベーシックチャネル」･･･ドコモが提供するチャネルです。配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
「おこのみチャネル」･･･IP（情報サービス提供者）が提供するチャネルです。
配信される情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。
※「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
※ 海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかり、国内でのパケット通信料と異なります。
※ iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。
・ iチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード編）』をご覧ください。

iチャネルを表示する

iチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面に情報がテロップ表示されます。

❶ 待受画面でCLR

地図／GPS

- FOMA端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- FOMA端末が圏外のときは、現在地確認を除き、GPS機能をご利用いただけません。

地図を見る／ナビを利用する

GPS対応ｉアプリを起動して地図を表示したり、ナビを利用します。

1 MENU ▶「地図／海外」▶「地図」または「ナビ」

自分のいる場所を確認する

現在、自分がいる場所を測位して、位置情報を取得します。取得した位置情報を使って現在地を地図に表示したり、地図・GPSアプリを利用することができます。

1 MENU ▶「地図／海外」▶「現在地確認／通知」▶「現在地確認」

測位レベル
★★★：ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）。
★★☆：比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）。
★☆☆：おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）。
測位レベルは周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

おしらせ

- 現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

オート GPS を利用する

オート GPS を利用すると、自分がいる場所に合わせて様々なサービスを受けることができます。

・オート GPS 機能のご利用にあたっては、GPS サービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
・位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
・お客様のご利用状況によっては、定期的に通信を行うことにより、FOMA 端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

オートGPS機能を設定する

1 MENU ▶「地図／海外」▶「地図・GPS 設定／履歴」▶「オート GPS」▶「オート GPS 動作設定」▶「ON」▶ 歩幅を入力

ドコモが提供するサービスを設定する

オート GPS 機能により測位された位置情報を、定期的にドコモに自動送信するかどうかを設定します。位置情報をドコモに自動送信することで、ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したサービスを受けることができます。

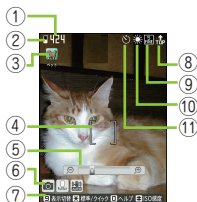
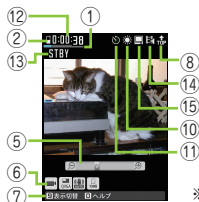
・各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。
・そのほかのサービスで利用するには、各ｉアプリからオート GPS サービス情報を設定してください。

1 MENU ▶「地図／海外」▶「地図・GPS 設定／履歴」▶「オート GPS」▶「ドコモ提供サービス設定」▶「利用する」▶「OK」

• 電池残量が低下した場合、オート GPS 機能を自動的に停止し、電池の消費量を抑えることを優先するように設定できます。
MENU ▶「地図／海外」▶「地図・GPS 設定／履歴」▶「オート GPS」▶「低電力時動作設定」▶「停止する」▶「OK」の順に操作します。

しらべる

撮影画面の見かたと操作

撮影画面の見かたと操作

静止画撮影画面

動画撮影画面

※ 画面はQVGAサイズでの説明になります。

① 保存可能枚数／保存容量表示　② 保存先　③ シーン表示　④ フォーカス枠
⑤ ズーム状態表示　⑥ サブメニューの各種設定状態　⑦ ボタン操作ガイダンス　⑧ 画面表示向き
⑨ 画質　⑩ ホワイトバランス　⑪ セルフタイマー　⑫ 撮影時間
⑬ 撮影状態表示　⑭ 音声設定　⑮ 画質／音質

■ 主なボタン操作

◉：シャッター　MENU：サブメニュー　カメラキー：内側カメラ／外側カメラ切替
メールキー：静止画／動画切替　メディアキー：メディアビューア起動　CLR：オートフォーカスロック解除
：オートフォーカスロック　／　：ズーム（広角）／ズーム（望遠）※
1：カメラモード　2：シーン　3：オートフォーカス
4：サイズ　5：明るさ　6：手ブレ補正
7：ISO感度（静止画）／ファイルサイズ（動画）　8：その他　9：アイコン表示切替
＊：標準／クイックショット切替　0：ヘルプ　#：ISO感度の切替

※：内側カメラの場合、静止画の「1.3M」サイズ、動画の「HD」サイズではズーム機能が利用できません。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 [カメラキー] ▶ カメラを被写体に向け ● ［シャッター］ ▶ ● ［保存］

クイックショットで撮影した場合は、自動で保存されます。

動画を撮影する

1 [カメラキー] ▶ [メールキー] ［ムービー］ ▶ カメラを被写体に向け ● ［録画開始］ ▶ 撮影を終了するには ● ［録画終了］ ▶ ● ［保存］

- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こすことがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

撮影した静止画／動画を見る

撮影した静止画はデータBOX内の「マイピクチャ」に、動画は「ｉモーション・ムービー」に保存されます。静止画／動画は待受画面などに設定することができます。

データBOXから静止画／動画を見る

1. MENU ▶「データBOX」▶「マイピクチャ」または「ｉモーション・ムービー」▶「カメラ」▶ で静止画／動画を選択

■ 撮影中に画像を見る場合

静止画撮影画面／動画撮影画面で ［►再生］

・撮影した静止画は、次の操作で待受画面などに設定できます。
静止画確認画面で MENU ［サブメニュー］▶「ピクチャ貼付」▶ 設定する画面を選択の順に操作します。

さまざまな方法で撮影する

1. 静止画撮影画面／動画撮影画面で MENU ［サブメニュー］▶「カメラモード」▶ カメラモードを選択

たのしむ

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
※「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン　：　http://www.dpa.or.jp/
ｉモード　：　http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

■ 放送波について
ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※ ワンセグアンテナはFOMA端末に内蔵されています。受信状態を良くするためには、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
＜注意事項＞
アナログ停波に伴い、チャンネル再編成が行われる場所があります。そのため、お客様自身により自動スキャンによるチャンネルの再設定（P.66）が必要になる場合があります。また、チャンネルの再設定後はチャンネルリストへの登録を必ず行ってください。

地デジチャンネルリパックについての詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）チャンネル変更コールセンター
電話番号　：　0120-922-303
パソコン　：　http://www.digisuppo.jp/repack/
ｉモード　：　http://digisuppo.jp/m/index.php

■ 電池残量について
電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、起動するかどうかの確認画面が表示されます。 また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴り、視聴または録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「電池少量時録画設定」が「録画を継続する」に設定されている場合、録画中に電池残量警告音は鳴りません。
- 確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

■ はじめてワンセグを利用する場合の画面表示
お買い上げ後、はじめてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
◉［OK］を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以降同様の確認画面は表示されません。

チャンネルを設定する

はじめてワンセグをご利用になるときや地域を移動したときなどには、チャンネル設定を行います。

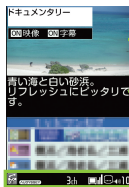
1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」▶「自動チャンネル設定」▶「YES」▶「YES」▶ タイトルを入力

■ 地域を選択してチャンネルリストを登録する場合

MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」▶「地域選択」▶ 地域や都道府県を選択 ▶「YES」

ワンセグを見る

1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「ワンセグ視聴」

視聴画面の見かたと操作

ワンセグ視聴画面

① 映像 ② 字幕 ③ 画面のモードや状態などを表示

- ：音量調節
- ：順送り選局
- CLR：消音（ミュート）
- 0 ～ 9、#、*：ワンタッチ選局
- ●：視聴中に押すと静止画録画、視聴中に1秒以上押すとビデオ録画開始、ビデオ録画中に押すと録画停止（録画したビデオはmicroSDカードに保存されます）
- ：番組情報表示、画面表示切替（縦画面表示のみ）

ワンセグの視聴／録画を予約する

1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「視聴予約リスト」または「録画予約リスト」▶ [新規] ▶ 各項目を入力 ▶ [完了]

録画したビデオを再生する

1 MENU ▶「データBOX」▶「ワンセグ」▶「ビデオ」▶ ビデオを選択

パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存

「Windows Media Player」を使って、音楽CDの音楽データをWMAデータに変換してmicroSDカードに保存します。

・パソコンとの接続には、FOMA充電機能付USB接続ケーブル02（別売）などが必要です。

1. MENU ▶「本体設定」▶「外部接続」▶「USBモード」▶「MTPモード」
2. FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、パソコンから「Windows Media Player」を起動 ▶ 音楽データをWMA形式に変換 ▶ パソコンからWMAデータをmicroSDカードに転送
3. データ転送が終わったらUSB接続ケーブルを外す ▶ FOMA端末のUSBモードを「通信モード」に戻す

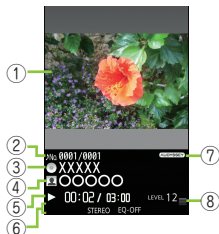
音楽データを再生する

iモードサイトやフルブラウザから取得した着うたフル®や、WMAデータを再生することができます。

・WMAデータの詳細については「使いかたガイド」を参照してください。
　MENU ▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」▶「機能一覧検索」▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」▶「再生できる音楽データ」▶「WMAデータについて」
・パソコンからmicroSDカード内の「PRIVATE/NEC/MUSIC」フォルダにWMAデータをコピーすることで音楽を鑑賞できます。

1. MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ミュージックプレーヤー」▶「全曲」▶ 楽曲を選択

- 再生制限付きの番組、楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある番組、楽曲は、タイトルの先頭に「」「」が表示されます。再生できる期間が制限されている番組、楽曲は、期間前や期間後には再生できません。
- 約30秒以上電池パックを外した状態が続くと、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている番組、楽曲については、再生することができません。
- 5Mバイトを超える着うたフル®やサイズが不明の着うたフル®は取得できません。

ミュージックプレーヤー画面の見かたと操作

① 画像
② トラック
③ タイトル
④ アーティスト名
⑤ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）
⑥ リピート状態／音質（イコライザ）など
⑦ 音響効果適用
⑧ 音量（レベル0～25）

：一時停止／再生を再開
：音量調節
：先頭から再生、先頭から3秒以内に押した場合は前の曲を再生
：次の曲を再生
（1秒以上）：スキップ戻し
（1秒以上）：スキップ送り
：停止
：曲リストを表示
：BGM再生

たのしむ

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリとは、ｉモード対応端末用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。さらに、リアルタイム通信やｉアプリコールを用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。また、ｉアプリにはｉウィジェット対応のものがあります。
・ ｉアプリによってはご利用に通信料がかかる場合があります。
ｉウィジェットとは電卓・時計や、メモ、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。ｉウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ（最大8個）を貼り付けることができ、ｉウィジェット画面を表示するだけで、複数のアプリを一度に楽しむことができます。
さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することが可能です。
・ ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
・ 詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
・ ｉアプリ、ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。
海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。

ｉアプリを起動する

❶待受画面で（1秒以上）▶ソフトを選択

サイトからアプリをダウンロードする

ｉモードのサイトから、最大約10Mバイトのｉアプリやウィジェットアプリのソフトをダウンロードできます。

❶ｉアプリ、ウィジェットアプリがダウンロード可能なサイトでソフトを選択▶「YES」

・ｉアプリとウィジェットアプリは合わせて最大200件保存できます。

ウィジェットアプリを起動する

❶待受画面で（1秒以上）▶ウィジェットアプリを選択

iモーション・ムービー

iモーション・ムービーについて

iモーションは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトからFOMA端末にダウンロードします。インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されているさまざまなムービーをダウンロード、再生できます。

※ ムービーのダウンロード、ストリーミング時には容量の大きいデータを受信する可能性があります。容量制限のないストリーミングタイプなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。

- パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード編）』をご覧ください。

iモーション・ムービーを取得する

1 iモーションがダウンロード可能なサイトからiモーション・ムービーを選択 ▶ 保存が可能な場合は「保存」▶「YES」▶ フォルダを選択

おしらせ

■ ダウンロードの種類
- ストリーミングタイプ：ダウンロードと同時に再生されます。
- 標準タイプ（ダウンロードタイプ）：ダウンロードが完了するとダウンロード画面が表示され、データの再生、保存などの選択ができます。

iモーション・ムービーを再生する

1 MENU ▶「データBOX」▶「iモーション・ムービー」▶ フォルダを選択 ▶ 動画を選択

おしらせ

■ ライセンス（WMDRM（Windows Media digital rights management））について
- ライセンスにより保護されたムービーで再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのムービーは非対応です。
- ムービーのライセンス設定によってはムービーの再生ができない場合があります。

おサイフケータイ

おサイフケータイ／トルカについて

■ おサイフケータイ

おサイフケータイは、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。 また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ＊1も充実しています。おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

＊1：おまかせロック、ICカードロックをご利用いただけます。（→P.41）

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト＊2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードして設定を行う場合と、おサイフケータイ対応サイト＊2上で設定を行う場合があります。

＊2：[メニュー] ▶ 「メニューリスト」 ▶ 「【生活情報】おサイフケータイ」

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

■ トルカ

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、ｉC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。

- トルカの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末のマークを読み取り機にかざし、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。

・電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからも、マークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます。

マークを読み取り機の読み取り部にかざす

ｉコンシェル

ｉコンシェルについて

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスのご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
- ｉスケジュール／メモ／トルカ／電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード編）』をご覧ください。

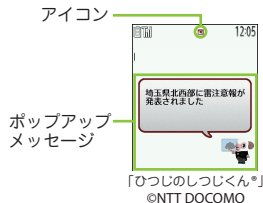
インフォメーションを受信する

インフォメーションを受信すると、画面の上部に「 」が表示されます。

1 待受画面 ▶ ポップアップメッセージを選択

ｉコンシェルを表示する

1 MENU ▶ 「ｉコンシェル」

より便利に

しゃべって検索を利用する

知りたいキーワードを発声して、ｉモードで検索します。

❶ MENU ▶「便利ツール」▶「しゃべって検索」

初めて利用するときは、利用案内の画面で「利用する」を選択します。

❷ バイブレータが振動し、「キーワードを話してください」と表示されたら、10秒以内で送話口／マイクにキーワードを話しかける ▶ ◉［確定］

◉［確定］を押さなくても、約2秒間無音となった場合は、自動的に音声の入力は終了し検索が開始されます。バイブレータが振動し、ｉモードの検索結果画面が表示されます。

おしらせ

- はっきりと、自然な会話の速度でお話しください。
- ご利用になる環境や話し方によって認識結果が異なる場合があります。
- ご利用にはパケット通信料がかかります。

音声クイック起動を利用する

待受画面から音声で機能を呼び出して実行することができます。利用したい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、利用したい機能をすばやく起動させたいときに利用します。

- 初めて利用するときは、利用案内の画面で「利用する」を選択するか、📷［開始］を押します。

❶ 待受画面で［／］（1秒以上）▶「それではどうぞ　★★音声受付中★★」と表示されたら、10秒以内で送話口／マイクに機能のキーワードを話しかける

おしらせ

- 起動する機能が特定できない場合は、「使いかたガイド」で候補を検索します。
- はっきりと、自然な会話の速度でお話しください。
- ご利用になる環境や話し方によって認識結果が異なる場合があります。

スケジュールを利用する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。

❶ MENU ▶「便利ツール」▶「スケジュール」▶ 日付を選択 ▶ MENU［サブメニュー］▶「新規登録」▶ 各項目を入力 ▶ 📷［完了］

アラームを利用する

❶ MENU ▶「便利ツール」▶「アラーム」▶ アラームを選択 ▶ 📷［編集］▶ 各項目を入力 ▶ 📷［完了］

バーコードリーダーを利用する

カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ります。

・FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
・バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約10cm離してください。

❶ MENU ▶「便利ツール」▶「バーコードリーダー」▶ バーコードを認識範囲に表示すると自動的に読み取り開始 ▶ MENU［サブメニュー］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

おしらせ

• JANコード
右のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

• QRコード
右のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

より便利に

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth 機器をFOMA端末に登録する

使用したいBluetooth機器が未登録のときは、Bluetooth機器を登録します。Bluetooth機器は10件まで登録できます。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておきます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」▶「YES」▶「OK」▶ 登録するBluetooth機器を選択 ▶「YES」▶ Bluetoothパスキーを入力 ▶「確定」▶ サービスを選択

Bluetooth 機器と接続する

登録したBluetoothを利用してワイヤレスで接続し、通話をしたり音楽を聴いたりできます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」▶ 接続するBluetooth機器を選択 ▶ サービスを選択

■ さまざまな機器と接続するには

ヘッドセットやハンズフリーで通話するには「ヘッドセット」または「ハンズフリー」を選択します。オーディオ機器で再生するには「オーディオ」を、ワイヤレスでBluetooth対応パソコンなどと接続するには「ダイヤルアップ」を選択します。

Bluetooth 接続でデータを送受信する

Bluetooth通信機能を搭載したほかのBluetooth機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを送受信します。相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。

1 送信したいデータを1件表示して MENU［サブメニュー］▶「データ送信」▶「Bluetooth送信」▶ 相手側の機器を受信状態にする ▶ Bluetooth機器を選択 ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「Bluetooth受信」▶「受信」▶ 相手のBluetooth機器からデータ送信 ▶「YES」▶「YES」

より便利に

microSD カードを利用する

本FOMA端末では市販の2Gバイトまでの microSD カード、32Gバイトまでの microSDHC カードに対応しています（2013年5月現在）。

- フォーマットは必ずN-01Eで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットした microSD カードは、使用できないことがあります。
- microSD カードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されている microSD カード以外については、microSD カードメーカーへお問い合わせください。
  - iモードから（「みんなNらんど」への接続のしかた）
    - ・ショートカットアイコンの「N」（みんなNらんど）を選択→P.30
    - ・ ▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなNらんど」
  - パソコンから
    http://www.n-keitai.com/
    なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードはFOMA端末の電源を切った状態で取り付け／取り外しを行ってください。
- microSD カードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSD カードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードを取り付ける／取り外す

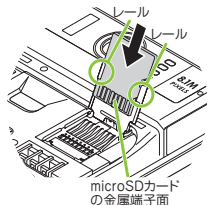
❶ リアカバーを取り外す

❷ 金属のホルダを「OPEN」の矢印の方向にスライドさせて持ち上げる

ホルダを持ち上げる際は、FOMA端末の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、ホルダをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください（ホルダが破損したり手や指を傷つける恐れがあります）。

❸ **microSDカードの金属端子面を手前にして、ゆっくりレールに沿ってまっすぐ差し込む**
取り外す場合、microSDカードをまっすぐにゆっくりと引き抜いて取り出します。

❹ **金属のホルダを閉じ「LOCK」の矢印の方向にスライドさせてロックする**
ホルダがうまく閉じない場合は、いったんホルダを持ち上げて、microSDカードが正しくレールにはまっているか、また奥まで差し込まれているかを確認してください。

❺ **リアカバーを取り付ける**
microSDカードを取り付け後、電源を入れると、「SD」が表示されます。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

① MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶ MENU［サブメニュー］▶「microSDフォーマット」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

microSDカードのデータを表示する

＜例：電話帳を表示する＞

① MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶「電話帳」▶ ファイルを選択 ▶ データを選択

データをmicroSDカードへコピーする

＜例：電話帳をmicroSDカードへコピーする＞

① 電話帳一覧画面で MENU［サブメニュー］▶「データコピー」▶「microSDへコピー」▶ コピー方法を選択

データをFOMA端末へコピーする

<例：電話帳をFOMA端末へコピーする>

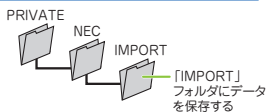
1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶「電話帳」▶ ファイルを反転 ▶ MENU［サブメニュー］▶「本体へ追加コピー」または「本体へ上書コピー」▶ コピー方法を選択 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

データをmicroSDカードにバックアップする

すでにmicroSDカード内にバックアップされたデータが存在する場合は、そのデータは上書きされますのでご注意ください。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「バックアップ／復元」▶「microSDへバックアップ」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

microSDカードのデータをFOMA端末で利用できるようにする

パソコンなどからmicroSDカードにデータを保存するときに、「IMPORT」フォルダにデータを保存すると、自動的にFOMA端末で利用可能なファイル名に変更し、microSDカード内の適切なフォルダに振り分けることができます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「ファイル一括取り込み」▶「YES」▶ 結果を確認して［完了］

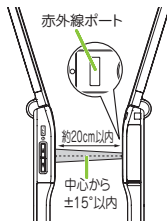
より便利に

- 一括取り込みが可能なファイルの種類は、次のようになります。（）内は拡張子です。
  - 静止画（JPG、GIF、SWF、JPEG※1）
  - 動画（ASF、3GP、SDV、MP4、WAX、ASX、WMV、WMX）
  - 音楽データ（WMA）
  - メロディ（MLD、SMF、MID、MIDI※2）
  - トルカ（TRC）
  - デコメアニメ®テンプレート（VGT）
  - PDF（PDF）
  - ドキュメント（DOC、XLS、PPT、PPTX、DOCX、XLSX、TXT）
  - 文字入力学習データ（IPM）
  - 単語登録（SVD）
  - 現在地通知（LSC）
  - 電話帳（VCF）
  - カレンダー（VCS）
  - 受信メール、保存メール、送信メール（VMG）
  - フリーメモ（VNT※3）
  - Bookmark（VBM）

※1：取り込み後は拡張子が「JPG」に変わります。DCF規格ファイルは「DCIM」フォルダ配下に、それ以外は「PRIVATE／DOCOMO／STILL」フォルダに移動されます。
※2：取り込み後は拡張子が「MID」に変わります。
※3：N-01Eで作成したメモにはスケジュールも含まれ、VCSとなります。

赤外線通信を利用してデータを送受信する

赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

・相手側の機器を受信状態にしてください。
・相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。
・本FOMA端末はIrMC™1.1規格に準拠しています。

■ データを1件送信する

<例：電話帳のデータを1件送信する>

1 送信したいデータの画面で MENU ［サブメニュー］▶「データ送信」▶「赤外線送信」

2 赤外線ポートを相手側の機器の赤外線ポートに向ける ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

MENU ▶「便利ツール」▶「赤外線受信」▶「受信」▶ 赤外線ポートを相手側の機器の赤外線ポートに向けて受信 ▶ 受信が完了したら「YES」

ｉＣ通信を利用してデータを送受信する

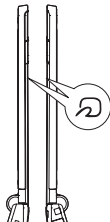
ｉＣ通信とは、FOMA端末とほかのFOMA端末を重ね合わせるだけで、電話帳などのデータを送受信できる機能です。

・相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。

■ データを1件送信する

<例：電話帳のデータを1件送信する>

❶ 送信したいデータの画面で MENU ［サブメニュー］ ▶「データ送信」▶「ｉＣ送信」

❷ 相手のFOMA端末の マークを重ね合わせる ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる ▶ 相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAデータや画像などをやりとりすることができます。また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- データ通信を行うには、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールする必要があります。詳しくは「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。「FOMA通信設定ファイル」と「パソコン接続マニュアル」は、ドコモのホームページからダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。

・お客さまのご契約状況に応じた、パソコン設定を簡単に行うことができます。また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

故障かな？と思ったら

・まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（→P.87）
・気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

FOMA端末の電源が入らない

● 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.20
● 電池切れになっていませんか。→P.21

充電ができない（充電ランプが点灯しない／点滅する）

● 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.20
● アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.21
● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。→P.21
● 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。→P.21
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して、電池アイコンが点滅している状態で、充電ランプが消える場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。→P.21
● ご使用の状況により充電が途中で停止する場合があります。使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。

操作中・充電中に熱くなる

● 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
  圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

何もしないのに電源が切れる、再起動する

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンの操作ができない

- 磁気を帯びた製品にFOMA端末を近づけると、ボタンの操作が正しくできなくなることがあります。磁気からFOMA端末を離してご使用ください。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定していませんか。→P.41
- 自動キーロック中ではありませんか。→P.41
- 「サイドボタン設定」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。

ドコモminiUIMカードが認識されない

- ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.20

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。自動時刻時差補正が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.41
- 自動キーロック中ではありませんか。→P.41
- 指定発信制限設定中ではありませんか。
- ダイヤルロックを設定していませんか。→P.41
- セルフモードを設定していませんか。

通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、T～Tilを表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを「接写」に切り替えてください。
- 手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。
- オートフォーカスを「OFF」で撮影していませんか。

おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロックやダイヤルロックを起動していませんか。
- FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。

保証とアフターサービス

保証について

・FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
・この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

● **調子が悪い場合**
修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

● **お問い合わせの結果、修理が必要な場合**
ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

・保証期間内は
- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

・以下の場合は、修理できないことがあります。
- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

・保証期間が過ぎたときは
ご要望により有料修理いたします。
・部品の保有期間は
FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お願い

- **FOMA端末および付属品の改造はおやめください。**
  - ・改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。**
  銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- **各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。**
- **修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Bluetoothアドレスが変更される場合があります。**
- **FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。**
  使用箇所:スピーカ、受話口部、送話口／マイク部付近
- **本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。**

端末エラー情報送信設定

ご利用のFOMA端末にエラーが発生した場合に、記録したエラー情報をドコモに送信するかどうかを設定します。

・エラーが発生しても、エラーの種別によっては記録されない場合があります。
・記録された情報は夜間にドコモに送信されます。
・エラー情報が送信される際のパケット通信料は無料です。
・送信された情報は、個人を特定する情報は含まれません。

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「端末エラー情報送信設定」▶端末暗証番号を入力▶「ON」または「OFF」

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

▶「お客様サポート」▶「お問い合わせ」▶「故障・電波状況お問い合わせ先」▶「ｉモード故障診断」

・海外でのご利用は有料となります。

サイト接続用QRコード

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

※ ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただしダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用できません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

アイコンからソフトウェアを更新する

待受画面に表示された 更新 （更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェアを更新します。

1 更新お知らせアイコンを選択 ▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力

ソフトウェア更新が必要かどうかがチェックされます。

2 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

すぐにソフトウェアを更新する場合は、「今すぐ更新」を選択するとソフトウェアのダウンロードが開始されます。あとで更新する場合は「予約」を選択し、希望日時を設定します。

■「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示された場合

そのままFOMA端末をご使用ください。

メニューからソフトウェアを更新する

メインメニューからソフトウェアを更新します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」

2 端末暗証番号を入力 ▶「更新実行」

ソフトウェア更新が必要かどうかがチェックされます。「アイコンからソフトウェアを更新する」の操作2へ進みます。

スキャン機能

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。

パターンデータ更新

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」▶「OK」

スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました

問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5
他XXXX件

戻る

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。

問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない 場合があります	正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない 場合があるため 終了します	正常に動作できない 場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないため データを削除します
［OK］：動作を継続	［YES］：動作を中止して終了 ［NO］：動作を継続	［OK］：動作を中止して終了	［YES］：データを削除して終了 ［NO］：動作を中止して終了	［OK］：データを削除して終了

その他

オプション・関連機器

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※2
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※2／P02※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- Bluetoothヘッドセット F01※3
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01／02／03
- イヤホンターミナル P001※1
- 骨伝導レシーバマイク 01※2／02
- FOMA USB接続ケーブル※4
- FOMA ACアダプタ 01※5／02※5
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- FOMA充電機能付USB接続ケーブル02※4
- FOMA補助充電アダプタ01／02／03
- 車載ハンズフリーキット 01※6
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- データ通信アダプタ N01
- FOMA室内用補助アンテナ※7
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※7
- 車内ホルダ 01※8
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※5
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- 卓上ホルダ N35
- 電池パック N30
- リアカバー N61
- FOMA ecoソーラーパネル 01

※1： N-01Eと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※2： N-01Eと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3： Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※4： USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5： ACアダプタでの充電方法について→P.21
※6： N-01Eを充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※7： 日本国内で使用してください。
※8： N-01Eを車内ホルダに取り付ける際は、「車内ホルダ 01取扱説明書」に記載されている使用方法②の表「5段目」に取り付けてください。

メニュー一覧

の項目は、「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

・ の項目には、お買い上げ時の設定（またはお買い上げ時の状態）に戻らない機能が含まれている場合があります。

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	送受信BOX	
	新規メール作成	
	新規デコメアニメ作成	
	デコメテンプレート	
	新規SMS作成	
	メール／メッセージ問合せ	
	SMS問合せ	
	メール選択受信	
	メール設定	受信設定
		表示設定
		冒頭文／署名設定
		定型文／単語登録
		BOXロック
		メール／メッセージ問合せ設定
		メール返信引用設定
		ブログ・メールグループ
		アドレス・迷惑メール設定
		編集時自動保存設定
		メール読み上げ設定
		感情／キーワードお知らせ
		SMS設定
		緊急速報「エリアメール」設定
		メール設定確認
		メール設定リセット

大項目	中項目	小項目
iモード／web	iMenu・検索	
	Bookmark	
	画面メモ	
	サイト閲覧履歴	
	URL入力	URL入力
		URL入力履歴
	iチャネル	iチャネル一覧
		テロップ表示設定
		iチャネル初期化
	iモード／web設定	iモードブラウザ設定
		フルブラウザ設定
		共通設定
		iモード設定確認
		iモード設定リセット
	ワンタッチマルチウィンドウ	
	フルブラウザホーム	
iアプリ	ソフト一覧（本体）	
	iアプリ（microSD）	
	iアプリコール履歴	
	iアプリ実行情報	
	iアプリ設定	自動起動設定
		ソフト情報表示設定
		iウィジェット海外利用設定
		iウィジェット効果音設定
		オートGPS優先設定
		iアプリコール機能設定
		iアプリ音量設定

大項目	中項目	小項目
アプリ	アプリ設定	アプリ音優先設定
		照明設定
		省電力設定
		バイブレータ
		アプリ設定確認
カメラ／TV／MUSIC	カメラ	静止画撮影
		動画撮影
		アートフォトモード
		バーコードリーダー
		メディアスビューア
	ワンセグ	ワンセグ視聴
		番組表
		視聴予約リスト
		録画予約リスト
		予約録画結果
		テレビリンク
		チャンネルリスト選択
		チャンネル設定
		ユーザ設定
	ミュージックプレーヤー	
	Music&Videoチャネル	
データBOX	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	モーション・ムービー	
	メロディ	
	コンテンツパッケージ	
	マイドキュメント	
	きせかえツール	
	マチキャラ	
	キャラ電	
	ワンセグ	
	ドキュメントビューア	
	フォント	
	イルミネーション	
	SDその他ファイル	
	全検索履歴	
便利ツール	バーコードリーダー	
	電卓	
	アラーム	

大項目	中項目	小項目
便利ツール	赤外線受信	
	スケジュール	
	メモ	
	ハンドミラー	
	メディアスビューア	
	Enjoy Exercise	
	microSD	
	辞典	
	ケータイデータお預かりサービス	
	使いかたガイド	
	ライフヒストリービューア	
	Bluetooh	
	おしゃべり機能	
	ボイスレコーダー	
	定型文／単語登録	定型文
		単語登録
	ダウンロード辞書	
	音声クイック起動	
	しゃべって検索	
	ドコモへのお問合せ	
電話機能	電話帳	電話帳検索
		電話帳登録
		UIM（FOMA）カード操作
		電話帳設定・確認
		電話帳画像転送
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去
		テレビ電話メモの再生／消去
		音声メモ録音
		伝言メモ設定
	発着信履歴	発信履歴
		着信履歴
		リダイヤル
	発着信・通話設定	迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス
		発信者番号通知
		通話中の着信動作
		発信詳細設定

大項目	中項目	小項目
電話機能	発着信・通話設定	着信詳細設定
		通話中詳細設定
		イヤホン機能設定
		着信拒否設定
		着信通知
	テレビ電話設定	受信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話切替機能通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	通話時間・料金	通話時間・料金
		通話料金通知
		積算リセット
		積算料金自動リセット
	災害用音声お届けサービス	
	声の宅配便	
	2in1	
	メロディコール	
	留守番電話サービス	
	その他ネットワークサービス	転送でんわ
		キャッチホン
		英語ガイダンス
		遠隔操作設定
		マルチナンバー
		追加サービス
	直デン	
本体設定	画面・ディスプレイ	きせかえツール設定
		待受画面設定
		MyFACE設定
		カラーテーマ設定
		各種画面設定
		背面ディスプレイ設定
		マチキャラ設定
		ソフトキー
		オリジナルメニュー

大項目	中項目	小項目
本体設定	画面・ディスプレイ	メニュー画面設定
		ピクチャ表示設定
		表示アイコン説明
		表示アイコン設定
		プライバシーアングル
		表示画質モード設定
		クイックインフォ設定
		インフォメーション表示設定
	音／バイブ／マナー	着信音量
		着信音選択
		その他音設定
		バイブレータ設定
		マナーモード設定
		マチキャラおしゃべり設定
	照明・イルミネーション	照明設定
		イルミネーション設定
	文字表示／入力	フォント設定
		文字入力機能
		Select language
	時計	メイン時計設定
		サブ時計設定
		待受時計表示
		自動電源ON
		自動電源OFF
	ロック・セキュリティ	ロック
		自動キーロック
		シークレット
		着信拒否設定
		端末暗証番号変更
		UIM（FOMA）カード設定
		スキャン機能
		ICカードロック設定
	電池	ecoモード
		ecoモード自動起動設定
		電池残量
	外部接続	USBモード
		Bluetooth

大項目	中項目	小項目
本体設定	外部接続	イヤホンマイク
		フェムトセル
	その他設定	サイドボタン設定
		ボタンカスタマイズ設定
		画面縦横自動切替
		アラーム通知設定
		セルフモード
		メモリリフレッシュ
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新
		端末エラー情報送信設定
		クイック検索接続先設定
地図／海外	地図	
	ナビ	
	イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ
		イマドコサーチ
	ｉエリア－周辺情報－	
	GPS アプリ一覧	
	現在地確認／通知	現在地確認
		現在地通知
	地図･GPS設定／履歴	位置履歴
		地図設定
		GPSボタン設定
		位置提供設定
		オートGPS
		測位モード設定
		現在地通知先登録
		サービス利用設定
		サービス利用／接続先設定
		イルミネーション／鳴動音設定
	海外ネットワークサーチ	3G／GSM切替
		ネットワークサーチ設定
地図／海外	海外ネットワークサーチ	優先ネットワーク設定
		オペレータ名表示設定
		在圏状態表示
		再検索アイコン表示設定
	海外設定	お問合せ（海外）
		サブ時計設定
		ローミング時着信規制
		ローミング着信通知
		ローミングガイダンス
		国際ダイヤルアシスト
		iモードサービス利用設定
		メール／メッセージ利用設定
		ネットワークサービス
ｉコンシェル		
プロフィール		
おサイフケータイ	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	ICカードロック
		電源OFF時ICロック設定
		オートロック設定
	設定	トルカ設定
		放送トルカ取得設定
		ICカード通知設定
	ICカード利用状況	
	ICオーナー確認	
	ICオーナー変更	
	iモードで探す	

主な仕様

本　体

品名		N-01E	
サイズ（閉じているとき）		高さ約110mm×幅約50mm×厚さ約13.4mm（最厚部約16.5mm）	
質量		約112g（電池パック装着時）	
連続待受時間		［FOMA／3G］	静止時（「自動」設定時※1）：約780時間
		［GSM］	静止時（「自動」設定時※1）：約420時間
連続通話時間		［FOMA／3G］	音声電話時：約270分
		［GSM］	音声電話時：約280分
充電時間		ACアダプタ：約150分	DCアダプタ：約150分
ワンセグ視聴時間		約330分※7	
ディスプレイ	方式	ディスプレイ：TFT 16,777,216色 背面ディスプレイ：有機EL 1色	
	サイズ	ディスプレイ：約3.2inch 背面ディスプレイ：約0.8inch	
	画素数	ディスプレイ：409,920画素（横480×縦854ドット） 背面ディスプレイ：3,360画素（横96×縦35ドット）	
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS	外側カメラ：CMOS
	サイズ	内側カメラ：1/6.0inch	外側カメラ：1/3.2inch
	有効画素数	内側カメラ：約130万画素	外側カメラ：約810万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	内側カメラ：約130万画素	外側カメラ：約800万画素
	ズーム（デジタル）	内側カメラ：最大約5.8倍	外側カメラ：最大約6.7倍
記録部	静止画記録枚数	最大約1,300枚※2	
	静止画連続撮影	5～108枚※3	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約83秒※4 microSDカード（1Gバイト）保存時：約120分※4	
	動画ファイル形式	MP4	
	ワンセグ録画時間	microSDカード（1Gバイト）保存時：最大約320分（合計）※5 microSDHCカード（32Gバイト）保存時：最大約10,240分（合計）※5	
音楽再生	連続再生時間	iモーション	約2,100分※6
		着うたフル®	約2,100分※6※7
		SD-Audio	約2,100分※6※7
		Windows Media Audio（WMA）ファイル	約2,220分※7
保存容量	着うた®・着うたフル®	約210Mバイト※8※9	

その他

※1：ネットワークの接続切り替え設定は、「3G／GSM切替」で行います。
※2：サイズ＝VGA（640×480）、画質＝ノーマル（ファイルサイズ＝95Kバイト）の場合です。
※3：サイズによって異なります。
※4：以下の条件での1件あたりの録画時間です。
＜本体＞
サイズ＝VGA（640×480）、画質／音質＝標準、ファイルサイズ＝10MB、音声設定＝ON
＜microSDカード（1Gバイト）＞
サイズ＝VGA（640×480）、画質／音質＝標準、ファイルサイズ＝無制限、音声設定＝ON
※5：放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※6：ファイル形式＝AAC形式
※7：バックグラウンド再生対応
※8：着うた®としては、シークレットフォルダには別途最大約10Mバイトの保存容量があります。
※9：画像、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、画面メモ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、インターネット動画、トルカ、ｉアプリ、フォント、コンテンツパッケージと共有

電池パック

品名	電池パック N30	公称電圧	DC 3.8V
使用電池	リチウムイオン電池	公称容量	1010mAh

FOMA端末の主な保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大1,000[※1]	－
ワンセグ	テレビリンク	50	－
	視聴予約	100	－
	録画予約	100	－
スケジュール	スケジュール	2,500[※2]	－
	休日	100	－
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2,500[※3※4※5]	最大2,500[※3]
	送信メール	最大1,000[※3※4]	最大500[※3]
	保存メール	最大200[※3]	－
ｉアプリ		最大200[※3]（メール連動型ｉアプリは5）	－
静止画		最大3,500[※3※6※7]	－
動画／ｉモーション		最大3,500[※3※6※8]	－
きせかえツール		最大3,500[※3※6]	－
着うたフル®		約68[※3※9]	－

※1：50件までドコモminiUIMカードに保存できます。
※2：ｉスケジュールを含みます。
※3：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※4：SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までドコモminiUIMカードに保存できます。
※5：「メール」フォルダに保存されている「SNS対応 NEW ｉアプリ登場!!」と「☆知らなきゃ損！ドコモの保険☆」（Welcomeメール）のメール件数を含みます。
※6：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※7：シークレットフォルダには別途最大250件保存できます。
※8：シークレットフォルダには別途最大10件保存できます。
※9：1曲のサイズを3Mバイトとした場合の保存件数です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-01Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.743W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2　NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ　http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2：携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.22 W/kg, and when worn on the body, is 0.80 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after search on FCC ID A98-HRG0037.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against

harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

・ Reorient or relocate the receiving antenna.
・ Increase the separation between the equipment and receiver.
・ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
・ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product "N-01E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.
The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.784 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

・「FOMA」「声の宅配便」「iモード」「iアプリ」「iモーション」「iコンシェル」「iウィジェット」「iアプリコール」「iスケジュール」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「デコメアニメ®」「キャラ電」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「WORLD CALL」「iチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「セキュリティスキャン」「iエリア」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「きせかえツール」「docomo STYLE series」「かざしてリンク」および「iC」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
・「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
・McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
・Powered by JBlend™ Copyright 2002-2012 Aplix Corporation. All rights reserved. JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

・ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

・（フェリカネットワークスのロゴ）はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
・「感情お知らせメール」「みんなNらんど」「ライフヒストリービューア」「クイックインフォ」「メディアスビューア／MEDIAS VIEWER」「フォト文字クリエイター」「Enjoy Exercise」「SP-VIEW」「Quick Shot／クイックショット」「アートフォト／Art Photo」「スイングイルミネーション／Swing Illumination」「なめらかワンセグ」「Speed movie／スピードムービー」「プライバシーアングル／Privacy angle」「マルチタスク／MULTITASK」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
・QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
・Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
・Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ MASCOT CAPSULE®は株式会社エイチアイの登録商標です。
・PhotoSolid®、MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
・「Google」は、Google Inc.の商標です。
・「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
・Twitterは、米国またはその他の国におけるTwitter,Incの商標または登録商標です。
・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）およびAVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
  - MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

  上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。（http://www.mpegla.com参照）
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2012 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  IrFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。 IrFront®
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
  iWnn©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントは タイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- Audyssey Laboratoriesからのライセンスに基づき製造されています。米国及び外国特許審議中。Audyssey Premium MobileはAudyssey Laboratoriesの商標です。
  Audyssey Premium Mobile™は携帯電話、スマートフォン、タブレットの様々な音響問題を解決します。スピーカーやヘッドフォンの音質改善、低音の拡張、歪を押さえた迫力ある大音量再生を実現します。
  AUDYSSEY PREMIUM MOBILE
- ハイパークリアボイスはSRS Labs, Inc.よりライセンスされたSRS VIP+技術に基づき製品化されています。 SRS VIP+
  SRS、VIP+、および記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細はメニュー→「データBOX」→「マイドキュメント」→「ｉモード」→「GPL/LGPLライセンス説明」をご参照ください。

・ 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。

The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
hts_engine API developed by HTS Working Group
http://hts-engine.sourceforge.net/

Copyright©
2001-2010 Nagoya Institute of Technology, Department of Computer Science
2001-2008 Tokyo Institute of Technology, Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the HTS working group nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

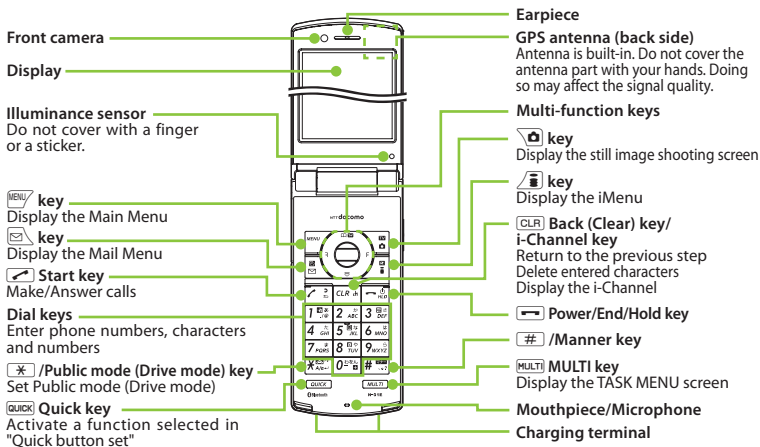
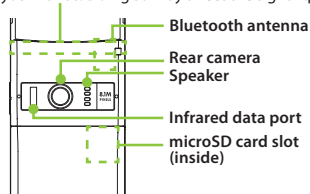
・ 本製品は、データ放送BMLブラウザとして、株式会社ACCESSのNetFront DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
本製品は、放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。
Copyright© 1996-2011 ACCESS CO., LTD.ACCESS、NetFront及びMedia:/メディアコロンは、株式会社ACCESSの日本国またはその他の国における商標または登録商標です。
・ フレーム補間機能には株式会社モルフォのFrameSolid™を採用しております。FrameSolid™は株式会社モルフォの商標です。
・ Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
・ 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
Copyright ©2006-2011, GestureTek, Inc.All Rights Reserved.
・ ©Q Entertainment Inc.2004, 2012
・ ©2004 BANDAI/NBGI
・ ©Primeworks/catalyst mobile
・ ©ATR-Trek Co.,Ltd.
・ ©MTI Ltd.
・ ©駅探

Windowsの表記について

・ 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
・ SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
・ 別途SIMロック解除手数料がかかります。
・ 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
・ SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

English（Quick Manual）

その他

Adding to phonebook

① [MENU] ➜ **"TEL function" ➜ "Phonebook" ➜ "Add to phonebook"**

● To add data from Redial/Received calls
On the standby screen ➜ [◀] ➜ Select a record ➜ [MENU] (Submenu) ➜ "Add to phonebook"

② **Select the destination ➜ Enter a name ➜ Check the reading of the name ➜ [●] (Set)**

③ **Select items and enter them**

Group (01 - 19, No Group)
[GR] <Group> ➜ Select a group
Phone number (up to 5)
[☎] <Phone number> ➜ Enter phone number ➜ Select an icon
Mail address (up to 5)
[✉] <Mail address> ➜ Enter mail address ➜ Select an icon
Address
[⌂] <Address> ➜ Enter zip code ➜ Enter address
Location information
[Loc] <Loc. info> ➜ Add location information
Birthday
[Cake] <Birthday> ➜ Enter birthday ➜ Set reminder
Memorandums
[Memo] <Memo> ➜ Enter memo
Image
[Img] <Image> ➜ Take a photo or select an image
Chara-den
[Chara] <Chara-den> ➜ Select Chara-den
Memory number (000 - 999)
[No] ➜ Enter memory No.

④ [Camera] **(Finish)**
Only name, reading, group, phone number and mail address can be added to a UIM.

Editing/Deleting phonebook data

Edit phonebook data

Open the Phonebook detail screen ➜ [MENU] (Submenu) ➜ "Edit" ➜ Edit the items if necessary ➜ [Camera] (Finish) ➜ "YES" (For the UIM, press [Camera] (Finish) and select "Overwrite" ➜ "YES")

Delete phonebook data

Open the Phonebook list screen ➜ [MENU] (Submenu) ➜ "Delete" ➜ "Delete this" ➜ "YES"

Entering text

Text entry (edit) screen

Input mode

[漢] ··· Kanji/Hiragana [123] ··· Number
[カナ] ··· Katakana [区] ··· Kuten code
[E] ··· Alphabet

Switch text entry modes

[✉] (Chrct) (1 second or longer)
The modes switch as follows:
5-touch ➜ 2-touch ➜ T9 input

Enter dakuten, han-dakuten

[*] (once or more)

Enter punctuation marks

[#] (once or more)

Switch to kanji/hiragana, katakana, alphabet or number mode

[✉] ➜ Select input mode

Enter pictograms, symbols, face marks, URL

[i] (PI · SB) ➜ Press [MENU] or [Camera] to change tabs ➜

Select pictograms, etc. (In case of pictograms or symbols, press CLR after entering)

■ Clear character

Use [navigation key] to move the cursor to the character to clear ➜ CLR

■ Enter space

[→] (Only when the cursor is at the end of the text)

■ Insert a line feed

[*]

[↓] (Only when the cursor is at the end of the text)

■ Switch the upper case/lower case of entered text

[*]

Entering "携帯" on Memo

■ Memo entry (edit) screen

MENU ➜ "Tool" ➜ "Memo" ➜ [camera] (New) ➜ "詳細" (Detail) ➜ Select input mode ➜ Activate Kanji/Hiragana input mode ➜

け ➜ 2 four times, い ➜ 1 twice,
た ➜ 4 once, い ➜ 1 twice

■ Text conversion

[mail] (CHG) ➜ [↓] ➜ Select "携帯" from the candidates

Camera

■ Photo mode

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "Camera" ➜ "Still image shooting" ➜ ● (Shoot) ➜ ● (Save)

■ Continuous shot

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "Camera" ➜ "Still image shooting" ➜ MENU (Submenu) ➜ "Continuous shot" ➜ ● (Cont.) ➜ [mail] (Save) ➜ Select saving method

■ Movie mode

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "Camera" ➜ "Movie shooting" ➜ ● (Record) ➜ ● (Stop) ➜ ● (Save)

1Seg

■ Register channel list

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "1Seg" ➜ "Channel setting" ➜ "Auto channel setting" ➜ "YES" ➜ "YES"

■ Switch the channel list

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "1Seg" ➜ "Channel list" ➜ Select a channel list

■ Watch 1Seg

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "1Seg" ➜ "Activate 1Seg"

■ Record 1Seg

Press ● (1 second or longer) while watching 1Seg: record 1Seg

Press ● while recording 1Seg : stop recording

Press ● while watching 1Seg : capture 1Seg

Viewing photo, Playing moving picture/melody

■ Display a photo

MENU ➜ "Data box" ➜ "My picture" ➜ Select folder ➜ Select photo

■ Play a moving picture

MENU ➜ "Data box" ➜ "i-motion/Movie" ➜ Select folder ➜ Select moving picture

■ Play melody

MENU ➜ "Data box" ➜ "Melody" ➜ Select folder ➜ Select melody

Using the music player

■ Play music

MENU ➜ "Data box" ➜ "MUSIC" ➜ Select folder ➜ Highlight a track ➜ [camera] (Play)

Making/Receiving videophone calls

■ Make a videophone call

Enter a phone number ➜ [camera] (V.phone) ➜ Press [end] after talking

■ Receive a videophone call

When the ring tone sounds and the illumination flashes, press [start] or ● (Subst.) ➜ Press [end] after talking

■ During a call

[camera] : Switch handsfree (ON/OFF)

i-mode mail

Composing/Sending i-mode mail

New mail
To <No address>
Subject <No subject>
<Add att. file>
<No message>
Auto Font conversion

Address
Subject
Message

Open the New mail screen

(Mail) ➔ (Mail) (New mail)

Enter an address

"To <No address>" ➔ Enter an address

Enter a subject

"Subject <No subject>" ➔ Enter a subject

Enter the main text

"<No message>" ➔ Enter the main text

Send mail

(Send)

Attaching files

Attach an image, i-motion, melody, PDF, document, ToruCa, or other data

Open the New mail screen ➔ "<Add att. file>" ➔ Select an item ➔ Select a folder ➔ Select data

Receiving i-mode mail

"(Mail)" flashes ➔ Received results screen appears ➔ Select "01"

Other mail functions

Reply to mail

Open mail to reply to ➔ (Reply) ➔ "" ➔ Enter main text ➔ (Send)

Forward mail

Open mail to forward ➔ MENU (Submenu) ➔ "Reply/Forward" ➔ "Forward" ➔ "To" ➔ Enter a mail address ➔ (Send)

Check new messages

(Mail) (1 second or longer)

Network Services

Voice mail Service

Activate

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Voice mail service" ➔ "Activate" ➔ "YES" ➔ "YES" ➔ Enter the ring time (seconds)

Deactivate

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Voice mail service" ➔ "Deactivate" ➔ "YES"

Play messages

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Voice mail service" ➔ "Play messages" ➔ "Play (voice call)" or "Play (videophone)" ➔ "YES" ➔ Follow the voice instructions

Call waiting

Activate

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Other network serv." ➔ "Call waiting" ➔ "Activate" ➔ "YES"

Deactivate

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Other network serv." ➔ "Call waiting" ➔ "Deactivate" ➔ "YES"

Answer another incoming call

Press (Call) to switch to incoming call
To switch the calls, press (Call).

Call forwarding Service

Activate

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Other network serv." ➔ "Call forwarding" ➔ "Activate" ➔ Set a forwarding number and the ring time, then select "Activate" ➔ "YES"

Deactivate

MENU ➔ "TEL function" ➔ "Other network serv." ➔ "Call forwarding" ➔ "Deactivate" ➔ "YES"

Emergency call

Emergency call	Phone number
Police emergency	110
Fire brigade/Ambulance emergency	119
Maritime distress call	118

- Depending on the area you are calling from, you may not be connected with the nearest police or fire department.

Main icons

Icon display area

- : Battery level
- : FOMA signal strength
- : Appears when you are out of FOMA service area
- : i-mode in progress
- : Unread mail
- : During a voice call
- : Dial lock
- : i-concier information
- : Using Multitask
- : Bluetooth
- : microSD card inserted
- : Vibrator set
- : Ring volume set to “Silent”
- : Manner mode set
- : Public mode (Drive mode) set
- : Alarm set
- : Voice Mail message
- : Record VP message set
- : eco mode “ON”
- : Auto-key lock “ON”
- : USB cable connected in Communication mode

For Overseas Use

Making a call

Making a call to outside your destination country (including Japan)

■ Make a call by dialing from the country code

On the standby screen, dial + (0 (1 second or longer)) ➜ Country code* ➜ Area code (City code) ➜ The other party's phone number ➜ [call key] or [camera key] (V.phone)

* The country code for Japan is “81”.

Making a local call in the country of stay

Dial the other party's phone number ➜ [call key] or [camera key] (V.phone)

Receiving a call

When you receive a voice/videophone call, press [call key].

After returning to Japan

When you return to Japan and turn on the power, the network will be automatically searched and connected to the FOMA network (DOCOMO).

■ Re-search the connectable operator

MENU ➜ “Map/Overseas” ➜ “Overseas NW search” ➜ “Network search setting” ➜ “Network re-search”
When select “Manual”, select an operator.

その他

Inquiries

General Inquiries <docomo Information Center>

0120-005-250 (toll free)

* Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.
* Unavailable from part of IP phones.
(Business hours : 9:00a.m. to 8:00p.m.)

■ **From DOCOMO mobile phones**
(In Japanese only)
(No prefix) 151 (toll free)
* Unavailable from land-line phones, etc.
(Business hours : 9:00a.m. to 8:00p.m.(open all year round))

■ **From land-line phones**
(In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
* Unavailable from part of IP phones.
(Business hours : 9:00a.m. to 8:00p.m.(open all year round))

Repairs

■ **From DOCOMO mobile phones**
(In Japanese only)
(No prefix) 113 (toll free)
* Unavailable from land-line phones, etc.
(Business hours : 24 hours(open all year round))

■ **From land-line phones**
(In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
* Unavailable from part of IP phones.
(Business hours : 24 hours(open all year round))

Lost & Stolen

■ **Omakase Lock**
• Charges will incur for application for Omakase Lock.
Application is free if made at the same time as application for service suspension or during service suspension.
Set/Release Omakase Lock
0120-524-360

(Business hours : 24 hours(open all year round))
(In Japanese only)
* Unavailable from part of IP phones.
* Omakase Lock can be set/released from the My docomo site on a PC, etc.

● Please confirm the phone number before you dial.
● For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo shop etc. near you on the NTT DOCOMO website or the i-mode site.
▶ **NTT DOCOMO website** http://www.nttdocomo.co.jp/english/
▶ **i-mode site** iMenu⇒お客様サポート (User support) ⇒ドコモショップ(docomo Shop)
＊In Japanese only

For loss, theft, malfunction, and inquiries while overseas (24-hour reception)

■ **From DOCOMO mobile phones**

International call access code for the country you stay

-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

＊ If you use N-01E, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■ **From land-line phones**
<Universal number>

Universal number international prefix

-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

＊ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

● If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.

● If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

索引

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから **i Menu⇒お客様サポート⇒お申込・お手続き⇒各種お申込・お手続き** **パケット通信料無料**

パソコンから **My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き**

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

・航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

・運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。
よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

・この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。
不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24 時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　**iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ**

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合せ先（24 時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** （無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-01Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600 でつながります。（「+」は「0」ボタンを 1 秒以上押します。）

■一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

再生紙を使用しています

'13.5（1.1版）
MDT-000190-JAA0

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA端末でデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

・ドライバ名やモデム名などで、FOMA端末の機種を表す箇所は【機種名】と記載しています。お使いのFOMA端末の機種名に読み替えてください。
・本書に記載している画面およびイラストはイメージです。お使いのFOMA端末により異なります。
・Bluetooth接続、Wi-Fi接続、ユーザー証明書についての記載は、対応機種のみ対象です。

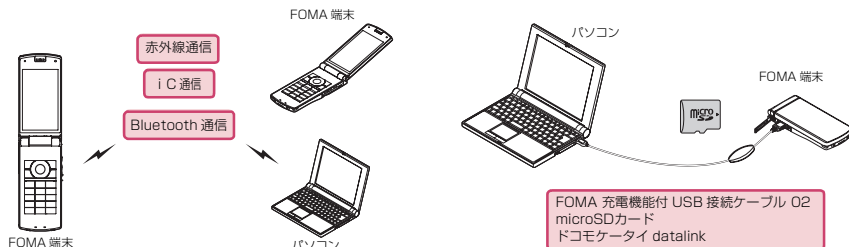
’12.9（2版）

データ通信

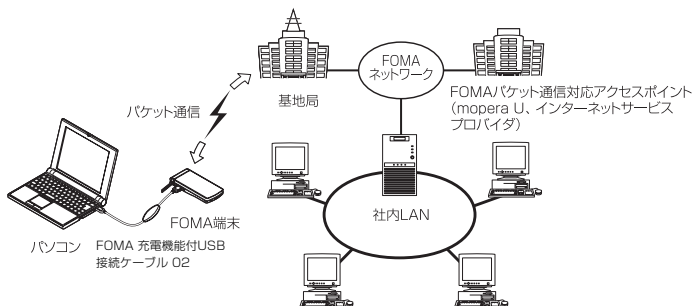
FOMA端末から利用できるデータ通信

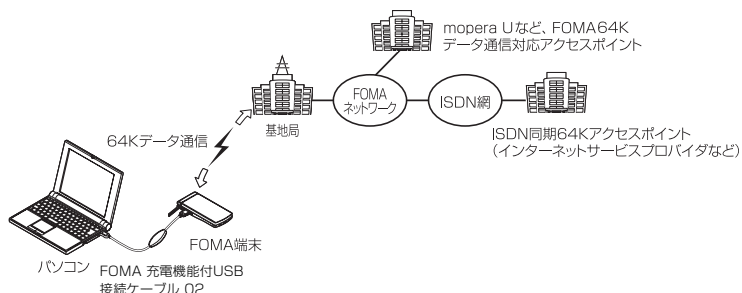
FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

データ転送（OBEX™通信）

画像や電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、FOMAハイスピードエリアでは受信最大7.2Mbps※2、送信最大5.7Mbps※2の高速通信を行うことができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。
FOMAネットワークに接続された社内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth通信※3、Wi-Fi接続を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

※1：データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2：技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。また、FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなる場合があります。
※3：Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64K アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02やBluetooth通信を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

おしらせ

- 海外やFOMAサービスエリア外では、パケット通信は受信最大384kbps、送信最大64kbpsとなります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- Wi-Fi接続を利用してパケット通信を行う場合は、PPP接続で通信を行ってください（IP接続ではパケット通信できません）。
- 海外で64Kデータ通信はご利用になれません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です（日本国内で通信を行う場合です）。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を利用できるパソコンであること。
- FOMAサービスエリア内であること。
- パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
- 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	動作環境	
	データ通信	ドコモ コネクションマネージャ
パソコン本体	・PC/AT互換機 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） ・Bluetooth通信を使用する場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ・Wi-Fi接続を使用する場合：無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11g準拠	
	・ディスプレイ解像度 800 × 600 ドット、High Color（65,536色）以上を推奨	・ディスプレイ解像度1,024×600ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨）、High Color（65,536色）以上
OS※1	・Windows XP（日本語版） ・Windows Vista（32ビット/64ビット）（日本語版） ・Windows 7（32ビット/64ビット）（日本語版）	・Windows XP Home Edition SP3以降（日本語版） ・Windows XP Professional SP3以降（日本語版） ・Windows Vista SP1以降（32ビット/64ビット）（日本語版） ・Windows 7（32ビット/64ビット）（日本語版）
必要メモリ※2	・Windows XP：128Mバイト以上 ・Windows Vista：512Mバイト以上 ・Windows 7（32ビット）：1Gバイト以上 ・Windows 7（64ビット）：2Gバイト以上	・お使いのOSが推奨する環境
ハードディスク容量※2	・5Mバイト以上の空き容量	・10Mバイト以上の空き容量
Webブラウザ	-	・Internet Explorer 6.0以上
メールソフト	-	・Windowsメール ・Outlook Express 6.0

※1 ： OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
※2 ： パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

● 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

おしらせ

● FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
● FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

・「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」（別売）または「FOMA USB接続ケーブル」（別売）※1
・「FOMA 通信設定ファイル」（ドライバ）※2

※1 ： USB接続の場合
※2 ： ドコモのホームページからダウンロードしてください。

おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
● USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

● FOMA通信設定ファイルは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
ドコモ コネクションマネージャを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

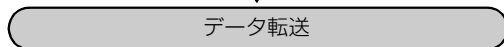
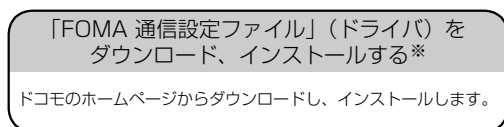
設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールしてください。

「FOMA 通信設定ファイル」（ドライバ）を
ダウンロード、インストールする※

ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

データ転送

※：ドコモケータイ datalink もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

USB接続の場合

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のダウンロード、インストール／パソコンとの接続

- FOMA通信設定ファイルをドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。→P.8
- パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続します。

↓

インストール後の確認をする（P.10）

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する（P.12）

↓

モデムを確認する（P.12）

＜「ドコモ コネクションマネージャ」を使って接続先の設定をする場合＞

↓

ドコモのホームページから「ドコモ コネクションマネージャ」をダウンロードしてインストールする

- ドコモ コネクションマネージャを使えるようにします。「ドコモ コネクションマネージャをインストールする」→P.17

↓

設定する

- mopera U※
- その他のプロバイダ

↓

接続と切断

- 接続します。→P.20
- 切断します。→P.21

＜「ドコモ コネクションマネージャ」を使わない場合＞

↓

設定する

- 「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに通信の設定をします。→P.22

↓

接続と切断

- 接続します。→P.36
- 切断します。→P.37

※： FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

Wi-Fi接続の場合（パケット通信のみ）

USBモードを「通信モード」にする

- パソコンに取り付ける前に設定してください。
- Bluetooth接続やWi-Fi接続を利用する場合は、設定を行う必要はありません。

1 MENUボタン▶「本体設定」▶「外部接続」▶「USBモード」▶「通信モード」

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

ここでは、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール手順を説明します。

- FOMA通信設定ファイルをインストールする前に、他のプログラムが実行中でないことを確認し、実行中のプログラムがある場合には終了してください。※
- FOMA通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を使用して接続するとき以外は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要はありません。

※：ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているソフトも終了してください。
例：タスクバーに表示されているアイコンをクリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

1 ドコモのホームページで、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）ダウンロードのページにアクセスする

http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/com_set/driver/index.html にアクセスしてください。

2 ご利用の機種のドライバのページへ進む

3 使用許諾契約書を確認し、同意する場合は「同意する」をクリックする

■「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合
「保存」をクリックする

4 ファイルの保存先を指定し、ダウンロードする

5 ダウンロードした「【機種名】_driver.exe」をダブルクリックし、「実行」をクリックする

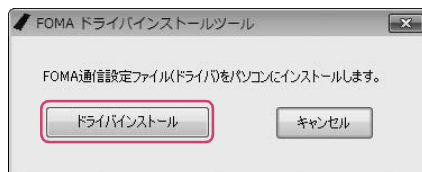
画面の指示に従ってファイルの展開先を指定します。

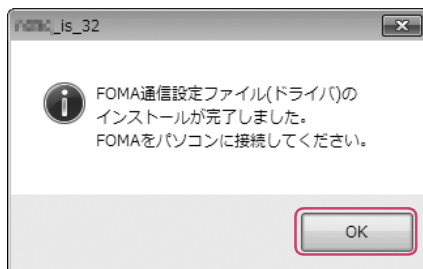
6 操作5で作成されたフォルダ「【機種名】_driver」内の「ReadMe.txt」を確認し、ご利用のパソコンのOSに合ったインストールファイルをダブルクリックする

7 ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、Windows 7の場合は「はい」を、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックする

Windows XPの場合、ユーザーアカウント制御画面は表示されません。

8 「ドライバインストール」をクリックする

インストールがはじまります。

9 右の画面が表示されたら、「OK」をクリックする

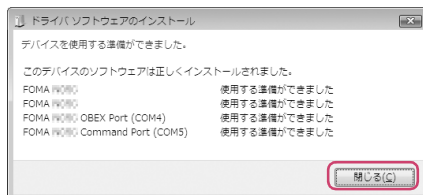
タイトルバーの表示は、ご利用のパソコンのOSによって異なります。

10 FOMA端末の電源を入れて、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をFOMA端末に接続する

FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の接続方法については、FOMA端末の取扱説明書<詳細版>をご覧ください。

11 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンのUSB端子に接続する

パソコンのタスクバーのインジケータにメッセージが表示され、インストールがはじまります。メッセージをクリックしてインストールの進行状況を表示します。

12 右の画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックする

4種類のドライバが表示されていれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.10）に進みます。

おしらせ

- パソコンにFOMA通信設定ファイルをインストールして、パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続すると、FOMA端末の画面に「 」が表示されます。

インストールしたドライバを確認する

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。
ここではWindows 7を例にして説明します。

1 「　」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システムとセキュリティ」を開く

Windows Vistaの場合

コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

Windows XPの場合

「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 「デバイスマネージャー」を選択

ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

Windows Vistaの場合

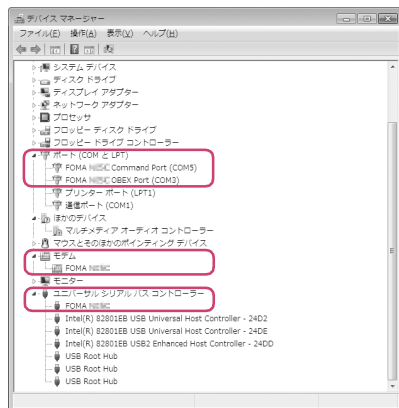
「デバイスマネージャ」を選択
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「続行」をクリックします。

Windows XPの場合

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」※または「USB（Universal Serial Bus）コントローラー」※の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

※：Windows VistaおよびWindows XPでは、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」と表示されます。

デバイス名	ドライバ名
ポート（COMとLPT）	• FOMA【機種名】Command Port • FOMA【機種名】OBEX Port
モデム	• FOMA【機種名】
ユニバーサルシリアルバスコントローラーまたは USB（Universal Serial Bus）コントローラー	• FOMA【機種名】

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.11）の手順に従ってFOMA通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows 7とWindows Vistaを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末とパソコンを接続している状態では、アンインストールを実行できません。
- FOMA通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す

2 Windowsの「プログラムと機能」を起動する

「（スタートボタン）」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリックする

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

3 「FOMA 【機種名】USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリックする

Windows XPの場合

「FOMA 【機種名】USB」を選択

4 ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、Windows 7の場合は「はい」を、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックする

Windows XPの場合

「変更と削除」をクリックする
Windows XPの場合、ユーザーアカウント制御画面は表示されません。

5 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

6 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムと機能」に「FOMA 【機種名】USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①FOMA通信設定ファイル（ドライバ）インストール時に作成したフォルダ「【機種名】_driver」を開く
  ②Windows 7（32ビット）の場合は「【機種名】_driver」→「【機種名】_Win7_32」フォルダを開く
  Windows 7（64ビット）の場合は「【機種名】_driver」→「【機種名】_Win7_64」フォルダを開く
  Windows Vista（32ビット）の場合は「【機種名】_driver」→「【機種名】_WinVista32」フォルダを開く
  Windows Vista（64ビット）の場合は「【機種名】_driver」→「【機種名】_WinVista64」フォルダを開く
  Windows XPの場合は「【機種名】_driver」→「【機種名】_Win_XP」フォルダを開く
  ③「【機種名】_un.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「【機種名】_un」と表示されることがあります。

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続し、データ通信を行います。

パソコンをFOMA端末に登録し接続する

はじめてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

1 MENUボタン▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「ダイヤルアップ登録待機」

FOMA端末が接続待機状態となり、ディスプレイに「（青色）」が点灯します。
約5分間接続がなかった場合は、自動的に接続待機は解除されます。

2 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録を行う

FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
パソコンの操作方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください（ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています）。

3 FOMA端末に機器登録するかどうかのメッセージが表示されたら「YES」

4 Bluetoothパスキーを入力

パソコンが機器登録され、パソコンとFOMA端末がワイヤレスで接続されます。接続が完了するとディスプレイに「（青色）」が点滅します。

■登録済のパソコンと接続する場合

FOMA端末から「ダイヤルアップ登録待機」を選択後、パソコンから接続操作を行うと、FOMA端末に接続できます。

「便利ツール」の「Bluetooth」から「接続待機」を選択し、「ダイヤルアップ」を接続待機状態にしているときにパソコンから接続操作を行った場合も接続可能です。

モデムを確認する

通信の設定を行う前に、ご使用になるモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。

1 「」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システムとセキュリティ」を開く

Windows Vistaの場合

コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

Windows XPの場合

「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 「デバイスマネージャー」を選択する

ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

Windows Vistaの場合

「デバイスマネージャ」を選択する
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「続行」をクリックします。

Windows XPの場合

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてモデム名またはCOMポート番号を確認する

「ポート（COMとLPT)」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

ダイヤルアップの接続待機を停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 MENUボタン▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「接続待機」

2 ダイヤルアップのチェックを外す▶「完了」に対応するボタンを押す

Wi-Fi機能対応パソコンに接続する

FOMA端末をアクセスポイントとすることで、Wi-Fi機能対応パソコンとWi-Fi接続しパケット通信を行うことができます。

● あらかじめ FOMA 端末をアクセスポイントモードにしておく必要があります。アクセスポイントモードにする方法やアクセスポイントモード設定については、FOMA端末の取扱説明書＜詳細版＞をご覧ください。

＜例：Windows 7の場合＞

1 「 」→「コントロールパネル」を選択

2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択

3 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする

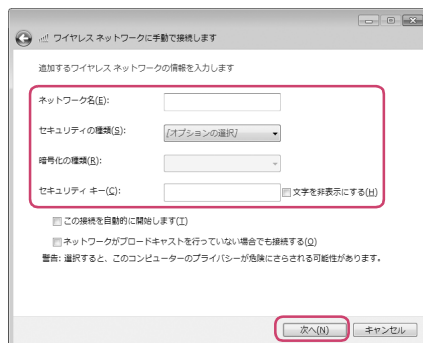
4 「追加」をクリックする

5 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」を選択する

6 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」に、FOMA端末に設定されているESSID、セキュリティ方式をそれぞれ設定し、「次へ」をクリックする

「セキュリティの種類」の「WPA2-パーソナル」は「WPA2-PSK」と同じ意味です。

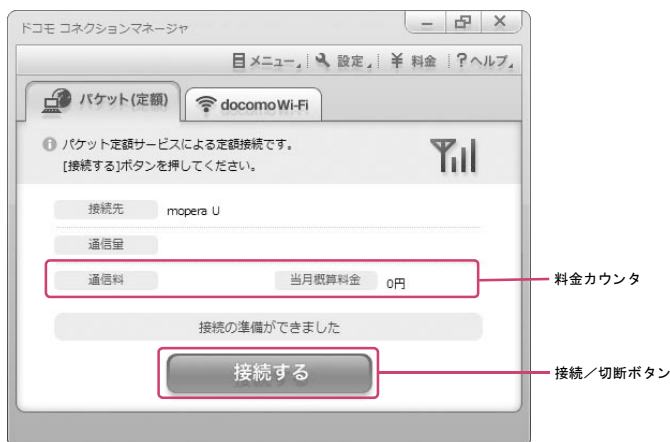
FOMA端末に暗号化機能が設定されている場合

「暗号化の種類」、「セキュリティキー」をFOMA端末と同じ設定にします。

7 「閉じる」をクリックする

ドコモ コネクションマネージャ

ドコモ コネクションマネージャは、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

※ FOMA 端末を使ってインターネットに接続するためには、定額データプランまたは FOMA サービス、およびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

従量データ通信のご利用について

パケット通信を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、データのダウンロード（例：アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート）などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。
なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSB接続ケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」の定額対象外通信となりますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

● 動作環境について

ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境については、「動作環境」（P.4）をご覧ください。

動作環境の最新情報についてはドコモのホームページでご確認ください。

● インストールするための準備

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を用意する

2 料金プラン・割引サービスと、インターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する

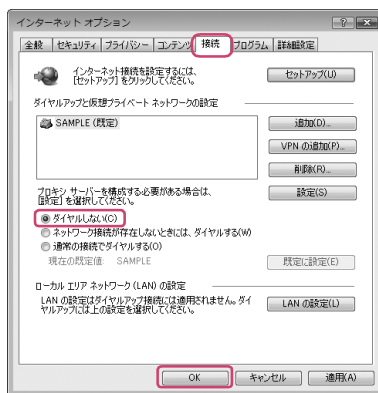
3 ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更する

「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」→P.17

● Internet Explorerの設定について

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定をしてください。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」を開く

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択する

3 「OK」をクリックする

● ドコモ コネクションマネージャを使用するユーザでログオンする

ドコモ コネクションマネージャのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持つユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなる場合があります。

■Windows 7／Windows Vistaの場合

管理者アカウントが必要です。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、インストールの途中で、管理者のユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されます。

■Windows XPの場合

Administratorsグループに所属しているユーザや「コンピュータの管理者」のユーザでログオンします。

● 起動しているアプリケーションをすべて終了する

ドコモ コネクションマネージャのインストールを行う場合は、ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。

例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」を選択します。

● ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

● ドコモ コネクションマネージャには、以下のソフトと同様の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

■同時にご利用いただく必要のないソフト

- mopera Uかんたんスタート
- U かんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

● ドコモ コネクションマネージャでdocomo Wi-Fiを利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトをアンインストールしてください。以下のソフトを同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのdocomo Wi-Fi接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

1 ドコモのホームページで、ドコモ コネクションマネージャのページにアクセスする

http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/にアクセスしてください。

2 「ドコモ コネクションマネージャ（Windows®）へ」をクリックする

3 「[ドコモ コネクションマネージャ（Windows®用）] ダウンロードへ」をクリックする

4 使用許諾契約書を確認し、同意する場合は「ダウンロード」の「同意する」をクリックする

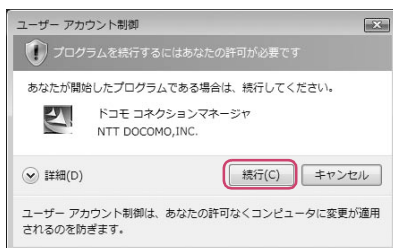
■「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合

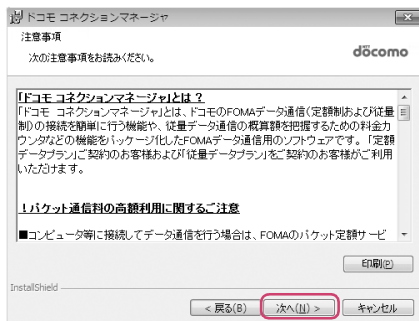
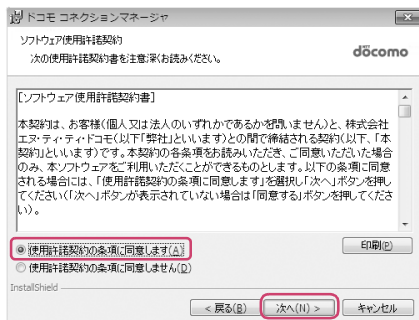
「実行」をクリックする

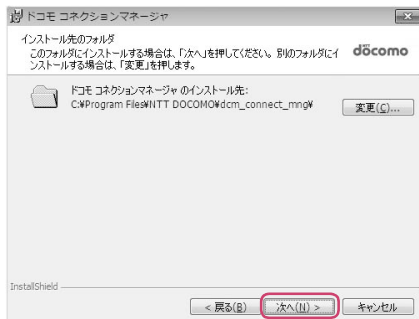
5 ダウンロードしたファイルを実行し、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、Windows 7の場合は「はい」を、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックする

Windows XPの場合、ユーザーアカウント制御画面は表示されません。すぐにセットアッププログラムが起動します。

Windows 7の場合

Windows Vistaの場合

❻「次へ」をクリックする

❼注意事項を確認し、「次へ」をクリックする

❽使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

❾インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

10 「インストール」をクリックする

11 「完了」をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 ドコモ コネクションマネージャを開く

「」または「スタート」→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」の順に開く

2 設定ウィザードに従い設定を行う

はじめて起動したときには、自動的に設定ウィザードが表示されます。
以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」をご覧ください。

設定した通信を実行する

1 ドコモ コネクションマネージャを開く

「ドコモ コネクションマネージャを起動する」→P.19

2 目的の通信の種類のタブをクリックし、「接続する」をクリックする

詳しくは「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」をご覧ください。
接続できない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.22）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.29）を確認してください。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示されるアイコンは、お使いの機種により異なる場合があります。詳しくは、FOMA端末の取扱説明書<詳細版>をご覧ください。
● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でデータ通信をする場合、異なるFOMA端末を接続するときは、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
通信をご利用にならない場合は、必ず以下の操作で通信を切断してください。

1 ドコモ コネクションマネージャから「切断する」をクリックする

2 「OK」をクリックする

おしらせ

- OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると、自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

ダイヤルアップネットワークの設定

ドコモ コネクションマネージャを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.29）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

接続先（APN）の設定を行う場合、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA 【機種名】」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

● 準備

ここではFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用した場合を例にして説明します。Bluetooth通信で接続する場合はP.12を参照してください。

1. FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を接続する
2. FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンに接続する

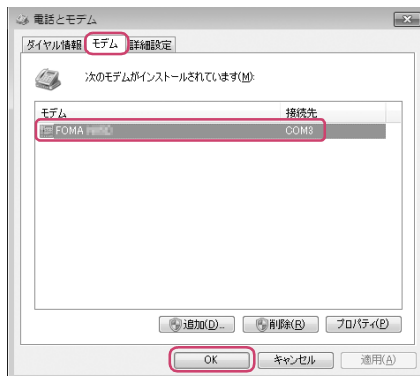
● Windows 7でCOMポートを確認する場合

1. 「 」→「コントロールパネル」を開く
2. コントロールパネル内の「デバイスとプリンターの表示」を開く
3. ご利用中のFOMA端末名を右クリックして、「モデムの設定」を選択する
4. 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

5 「モデム」タブをクリックしてご利用中のFOMA端末の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows VistaでCOMポートを確認する場合

1 「 」→「コントロールパネル」を開く

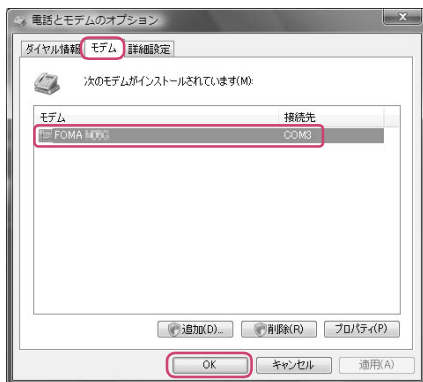
2 コントロールパネル内の「ハードウェアとサウンド」→「電話とモデムのオプション」を開く

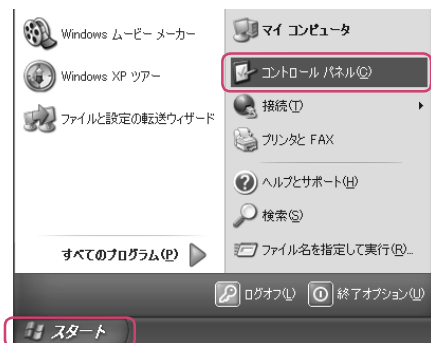
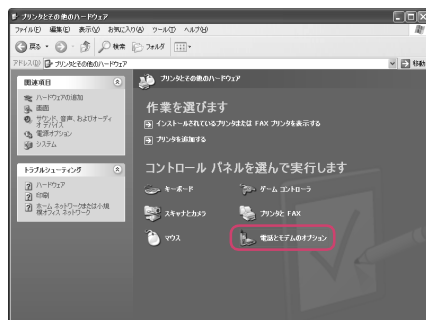
3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックしてご利用中のFOMA端末の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

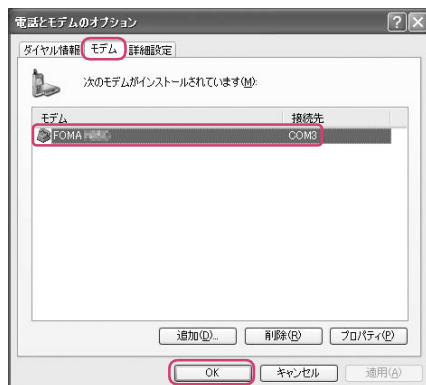
画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックしてご利用中のFOMA端末の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.net（PPP）　cid2：設定なし　cid3：mopera.net（IP） cid4：mpr.ex-pkt.net（PPP）　cid5～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows XP標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

● Windows 7およびWindows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7およびWindows Vistaの場合は、Windows 7およびWindows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先について<APN/cid>

● パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。
● APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1およびcid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が、cid4にはmopera Uの接続先（APN）「mpr.ex-pkt.net」が登録されていますので、cid2およびcid5～10に接続先（APN）を設定してください。※1
● APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>#」とするとcid番号の接続先に接続します。
● mopera Uに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」、「＊99＊＊＊3#」または「＊99＊＊＊4#」にすると、簡単にmopera Uを利用することができます。※2
● APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		―	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○（ドコモ コネクションマネージャなどを使用）	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		―	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
● mopera U以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。
※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの2および5～10番に登録してください。

<例：Windows XPでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用する場合>

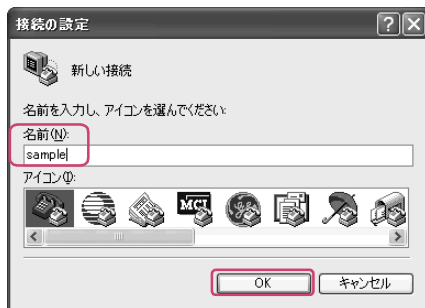
1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」からご利用中のFOMA端末を選択し、「OK」をクリックする

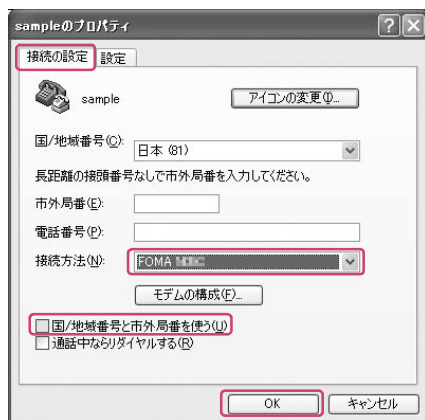
接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

ご利用中のFOMA端末のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択するCOMポート番号は、「COMポートを確認する」(P.22)を参照して確認してください。

ご利用中のFOMA端末のCOM ポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

(1) 「ファイル」→「プロパティ」を選択
(2) 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄でご利用中のFOMA端末を選択
(3) 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
(4) 「OK」をクリックする

7 接続先（APN）を入力し、⏎を押す

AT+CGDCONT=<cid>, "PDP_type", "APN" の形式で入力する

＜cid＞：5～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

"PDP_type"："PPP" または "IP" と入力します。

"APN"：接続先（APN）を " " で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの5番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=5,"PPP","XXX.abc"

⏎ と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「"sample" と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.27の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1 ⏎ と入力すれば、以降に入力するATコマンドが表示されるようになります。
- ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合
  - ・リセットを行った場合、cid=1 および cid=3 の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に、cid=4 の接続先（APN）設定が「mpr.ex-pkt.net」（初期値）に戻り、cid=2およびcid=5～10の設定は未登録となります。

    ＜入力方法＞

    AT＋CGDCONT= ⏎（すべてのcidをリセットする場合）

    AT＋CGDCONT=〈cid〉⏎（特定のcidのみリセットする場合）
- ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合
  - ・現在の設定内容を表示させます。

    ＜入力方法＞

    AT＋CGDCONT? ⏎

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.39）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

ハイパーターミナルの起動方法については、「接続先（APN）を設定する」（P.25）を参照してください。

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<*n*>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝2の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊2#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊2#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊2#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows 7でダイヤルアップの設定を行う

1 「」→「コントロールパネル」を選択

2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択

3 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

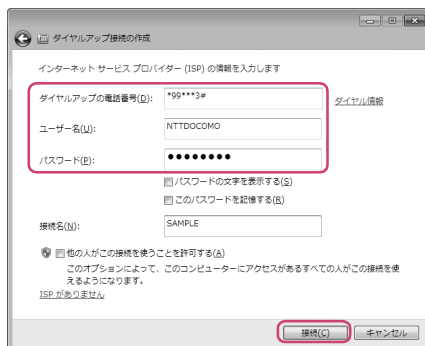
5 モデムの選択画面が表示された場合は、ご利用中のFOMA端末をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをクリックしてください。

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

6 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

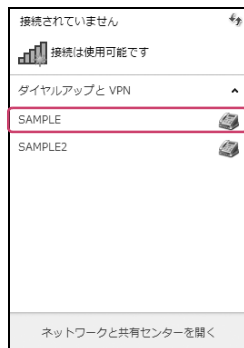
mopera Uの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。mopera U以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

7 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

ここではすぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

8 「閉じる」をクリックする

9 コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワークに接続」をクリックする

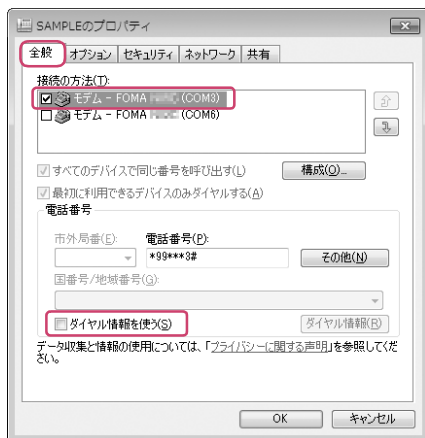
10 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

11 「全般」タブで設定を確認する

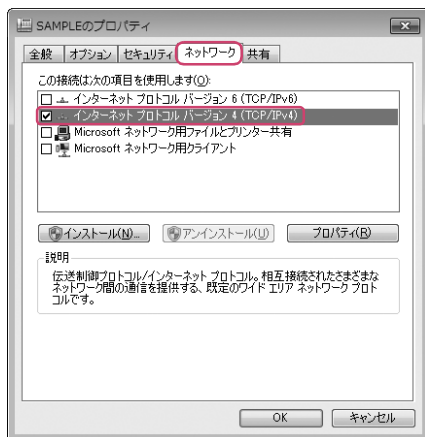
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合

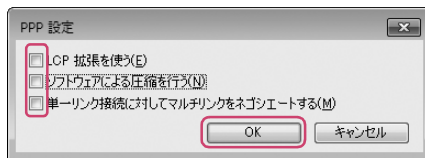
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続しているときは、「接続の方法」欄でご利用中のFOMA端末のみにチェックが付いていることを確認します。

Bluetooth通信でワイヤレス接続しているときは、「接続の方法」欄で「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」のみにチェックが付いていることを確認します。

チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

12 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」のみにチェックを付けます。

13 「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

14 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

15 「OK」をクリックする

Windows Vistaでダイヤルアップの設定を行う

1 「 」→「接続先」を開く

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は、ご利用中のFOMA端末をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをクリックしてください。

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

mopera Uの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。mopera U以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

6 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

ここではすぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

7 「接続をセットアップします」をクリックし、「閉じる」をクリックする

8 「 」→「接続先」を開く

9 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

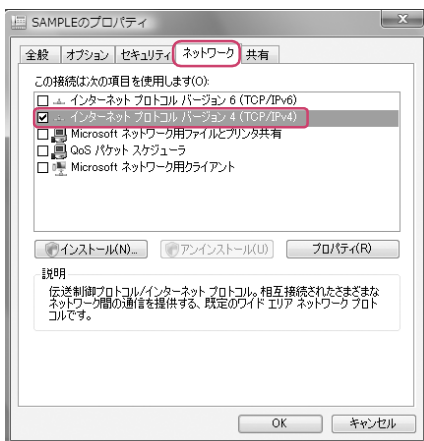
10 「全般」タブで設定を確認する

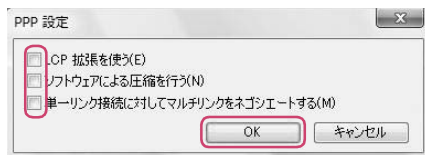
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続しているときは、「接続の方法」欄でご利用中のFOMA端末のみにチェックが付いていることを確認します。
Bluetooth通信でワイヤレス接続しているときは、「接続の方法」欄で「モデムーご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供している Bluetoothモデムの名前」のみにチェックが付いていることを確認します。
チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

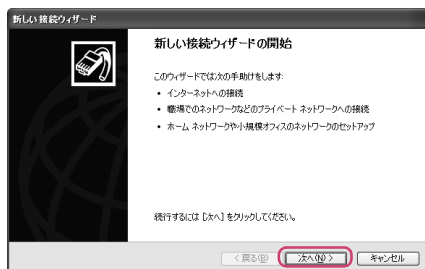
11 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」のみにチェックを付けます。ご利用になるプロバイダの指示がある場合は、「QoS パケットスケジューラ」および、その他の項目にチェックを付けます。

12 「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

13 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

14 「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

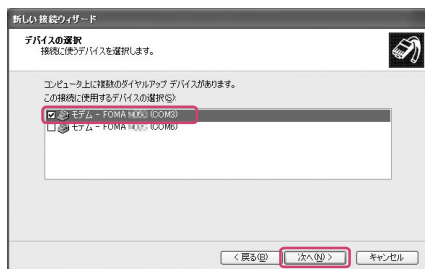
2 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、ご利用中のFOMA端末のみを選択し、「次へ」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみを選択してください。

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx) は、「COMポートを確認する」(P.22)で表示されるCOM ポートの番号です。

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9 「次へ」をクリックする

mopera Uの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。mopera U以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

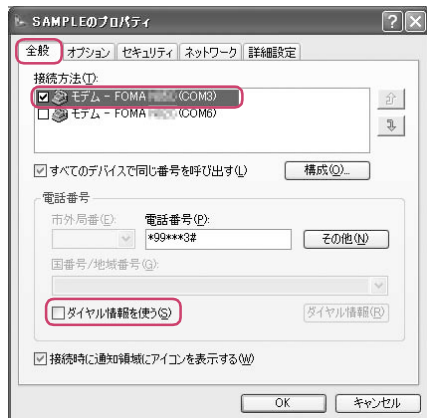
13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続しているときは、「接続方法」欄でご利用中のFOMA端末のみにチェックが付いていることを確認します。

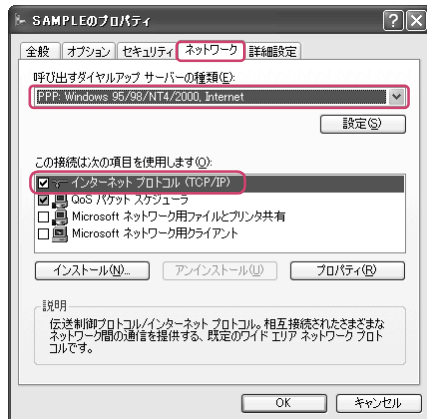
Bluetooth通信でワイヤレス接続しているときは、「接続方法」欄で「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」のみにチェックが付いていることを確認します。

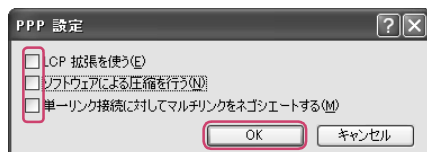
チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

＜例：Windows 7でFOMA 充電機能付USBケーブル 02を利用する場合＞

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する

2 「 」→「コントロールパネル」→「インターネットへの接続」を開く

3 接続先を選択して「次へ」をクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uの場合は、ユーザー名･パスワードについては空欄のままでも接続できます。

＜接続中の状態を示す画面が表示されます＞

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞

接続が完了し、接続完了画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください（OSによってはデスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、接続したことを通知するメッセージが数秒間表示されます）。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
接続できない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.22）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.29）を再度確認してください。
通信状態については、P.20を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows 7を例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

2 接続中の項目を選択し、「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
FOMA端末がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.4）を満たしているかを確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ＜FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使用する場合＞ ・ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ USBモード（P.7）が「通信モード」になっているか確認してください。 ＜Bluetooth通信を使用する場合＞ ・ Bluetooth機器がダイヤルアップ通信サービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

● ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[&F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

● 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

モデムポートコマンド一覧

FOMA 【機種名】（モデム）で使用できるコマンドです。

● Bluetooth接続で実行する場合、「:」の後ろに半角スペースが付いてリザルトが表示されます。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT	−	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*=0：CDは常にON *n*=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*=0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*=1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*=2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*=0：無線区間通信速度を表示する *n*=1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*=0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F=? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*=0：DRは常にON（初期値） *n*=1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*＝0 のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W＝? ERROR
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*＝0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*＝1：着信拒否設定を有効にする *n*＝2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*＝1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,5 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*＝1 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,5 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.27）。	*n*＝0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*＝1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*＝2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	－	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： ０：電池パックから電源が供給されている １：電池パックから電源が供給されていない ２：FOMA 端末に電池パックが接続されていない ３：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： ０：電池残量なし、または電池パック未接続 １～100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,134),(1),(0) OK
AT+CDIP=*n* [&F] [&W]	着信時に、着サブアドレスを通知するかどうかを設定します。マルチナンバー契約状態を問い合わせます。	*n*=０：着サブアドレスを通知しない（初期値） *n*=１：着サブアドレスを通知する AT+CDIP? ：現在の設定値を表示する +CDIP:*n*,*m* *m*=０：マルチナンバー未契約 *m*=１：マルチナンバー契約中 *m*=２：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.51）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.48	P.48
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.48	P.48
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.49	P.49
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=０：通知なし（初期値） *n*=１：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG：<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： ０：パケット圏外 １：パケット圏内 ４：不明 ５：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	−	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*＝0： リザルトを出さない(初期値) *n*＝1： リザルトを出す AT+CLIP? ： 現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*＝0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*＝1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*＝2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK (+CLIP=1設定時に着信) RING +CLIP:"090XXXXXXXX",177,"123",136
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*＝0： CLIRサービスの契約に従う *n*＝1： 通話相手に番号発信しない *n*＝2： 通話相手に番号発信する(初期値) AT+CLIR? ： 現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0： CLIRは起動していない（常時通知） *m*＝1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*＝2：不明 *m*＝3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*＝4：CLIRテンポラリーモード (通知デフォルト)	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*＝0： ERRORリザルトを用いる(初期値) *n*＝1： +CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*＝2 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは以下のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト：+CNUM:,<number>,<type> number：電話番号 type ： 129または145 129 ： 国際アクセスコード+を含まない 145 ： 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下のとおりです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),(3,,,"44F002"),,(0,1,3),(2) OK
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード、PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態（PIN1ロック解除コード入力可） +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態（PIN2ロック解除コード入力可） 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態 :PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0：表示しない（初期値） *n*=1：表示する <serv>：パケット通信を意味する "GPRS" のみ表示する（回線種別により "SYNC"，"AV64K" を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0：+CRINGを使用しない（初期値） *n*=1：+CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおりです。 +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS "PPP",,, "<APN>" AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING：GPRS "PPP",,, "〈APN〉"

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 • OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0： 通知なし（初期値） *n*=1： 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>"[,0] *n*=0： 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=1： 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=0：設定完了 *m*=1：ネットワークから情報要求あり。 str ：0～9、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0,"xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=0： データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名を表示します。	－	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名を表示します。	－	AT+GMM FOMA 【機種名】 OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n*,*m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ：DCE by DTE *m* ：DTE by DCE 0： フロー制御なし 1： XON／XOFFフロー制御 2： RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n*,*m* =2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2),(0,1,2) OK
AT+WS46	FOMA端末の無線通信モードを表示します。	12：GSM／GPRS固定モード 22：3G固定モード 25：Autoモード	AT+WS46? 25 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*＝0： 拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*＝1： 拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1 ～ 10：＋ CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：64K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：AV64K通信	＜パケット通信＞ ATD＊99＊＊＊1# CONNECT ＜64K通信＞ AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT ＜AV64K通信＞ AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*＝0 ：エコーバックなし *n*＝1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*＝0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*＝0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*＝1： 製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*＝2： FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*＝3： ACMP信号の各要素を表示する *n*＝4： FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA 【機種名】 OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*＝0： オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*＝0 ：リザルトコードを表示する（初期値） *n*＝1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*＝0 ：自動着信しない（初期値） *n*＝1‐255： 指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43　：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2?　：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13　：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3?　：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10　：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4?　：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8　　：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5?　：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ(初期値) *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：＊ *n*=1：/（初期値） *n*=2：￥（￥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：# *n*=1：%（初期値） *n*=2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送する *n*=1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	－	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	－	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド
以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT=[パラメータ]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※1：1～10
<PDP_type>※2：PPPまたはIP
<APN>※3：任意
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1および<cid>=3にはmopera.net が、<cid>=4にはmpr.ex-pkt.netが初期値として登録されていますので、cidは2または5～10に設定します。
※2：<PDP_type>は、接続方式です。FOMA端末はPPPまたはIPを指定できます。<cid>=1、4にはPPPが、<cid>=3にはIPが初期値として登録されています。なお、アクセスポイントモードの接続先として使用する場合はPPPを指定します。
※3：<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※1 ：1～10
<Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または5,760
<Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または7,232
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
※2：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、5,760および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。
(1)　上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5
OK
(2)　上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,5760,7232
OK
(3)　上り5,760kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが7の場合）
AT+CGEQMIN=7,,5760
OK
(4)　上りすべての速度/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが8の場合）
AT+CGEQMIN=8,,,7232
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**
PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**
+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**
<cid>※：1～10
※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。

・**パラメータを省略した場合の動作**
+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQREQ=5
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.25）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定およびAT+CLIRコマンドによる64Kデータ通信発信時の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に
AT&W ↵
と入力することにより保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、
ATZ ↵
と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
122	CONNECT 64000	FOMA端末−基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末−基地局間速度384,000bpsで接続しました。
133	CONNECT 3648000	FOMA端末−基地局間速度3,648,000bpsで接続しました。
135	CONNECT 7232000	FOMA端末−基地局間速度7,232,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末−PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末−PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末−PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末−PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末−PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末−PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末−PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末−PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末−PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末−PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末−PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末−PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

● ATV*n*コマンド（P.47）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
● 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末−PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth通信で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
●「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥Vnコマンド（P.45）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT
数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
以下の例は、mopera.netに、送信最大5,440kbps、受信最大7,232kbpsで接続したことを表します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.net/5440/7232
数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る～れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狃	狒	狎	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			